

令和3年3月号目次

■ 議会のうごき	2
本 会 議	2
第 1 日	2
第 2 日	8
代表質問	9
第 3 日	11
総括質問	12
第 4 日	14
総括質問	15
第 5 日	18
意見書	28
会 議 結 果	42
常 任 委 員 会	46
総 務	46
教 育 福 祉	48
市 民 経 済	50
建 設 水 道	52
議 会 運 営 協 議 会	55
議 会 運 営 委 員 会	59
各 派 代 表 者 会 議	70
議 会 広 報 紙 編 集 委 員 会	75
議 会 図 書 室 運 営 委 員 会	77
■ 当局のうごき	78
職 員 の 人 事 異 動	78
■ ロ ビ ー	83
役 職 等 一 覧 表	83
前 橋 市 功 勞 者 表 彰	85
3 月 の 日 誌	85

■ 議 会 の う ご き

— 本 会 議 —

◇ 第1回定例会の概要

令和3年第1回定例会は、3月3日に招集され、26日までの24日間（本会議は5日間）の会期で行われた。

今定例会では、「令和3年度前橋市一般会計予算」以下56件の市長提出議案及び修正案1件が審議され、議案第28号（修正案）、議案第28号（修正部分を除く原案）が可決、その他の議案はいずれも原案のとおり可決、同意、承認された。

代表質問は9日に各会派の代表5人の議員、総括質問は11日と15日の2日間に21人の議員が行い、市長や所管部長などから答弁があった。

意見書案は、「新型コロナウイルス感染症の影響による自殺対策強化についての意見書」以下12件が上程され、同意見書を含む2件を原案のとおり可決、「公立公的病院の統廃合の中止と地域医療の充実を求める意見書」以下10件は否決され、第1回定例会は閉会した。

◇ 3月3日（水）〔第1日〕

正副議長の選挙、常任委員の選任、議会運営委員の選任、群馬県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙、市長提出議案50件の上程

一般選挙後の初めての議会となるため、年長議員の横山議員が臨時議長となり、仮議席の指定を行った後、議長選挙が行われ、横山議員が当選し議長就任の挨拶が行われた。

次に、議長交代後、事務局長から諸般の報告があり、議席の指定後、会期を3月3日から26日までの24日間と決め、会議録署名議員に吉田、宮崎、大澤各議員を指名した。

続いて、副議長選挙が行われ、富田議員が当選し、挨拶の後、常任委員の選任、議長の常任委員辞任の許可、議会運営委員9名の選任が行われた。

次に、群馬県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙が行われ、指名推薦により正副議長が当選人となった。

続いて、市長提出議案50件が上程され、山本市長から令和3年度各会計予算案の概要について、各所管部長から提案理由の説明が行われた後、4日から8日までの5日間を休会と決め、午後2時58分に散会した。

議事日程第 1 号

第 1 回定例会
令和 3 年 3 月 3 日(水)
午後 1 時開議

- 第 1 仮議席の指定
- 第 2 議長選挙
- 第 3 議席の指定
- 第 4 会期の決定
- 第 5 会議録署名議員の指名
- 第 6 副議長選挙
- 第 7 常任委員の選任
- 第 8 議長の常任委員辞任
- 第 9 議会運営委員の選任
- 第 10 群馬県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙
- 第 11 市長提出議案の上程
 - 議案第 1 号 令和 3 年度前橋市一般会計予算
 - 議案第 2 号 令和 3 年度前橋市国民健康保険特別会計予算
 - 議案第 3 号 令和 3 年度前橋市後期高齢者医療特別会計予算
 - 議案第 4 号 令和 3 年度前橋市競輪特別会計予算
 - 議案第 5 号 令和 3 年度前橋市農業集落排水事業特別会計予算
 - 議案第 6 号 令和 3 年度前橋市介護保険特別会計予算
 - 議案第 7 号 令和 3 年度前橋市母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計予算
 - 議案第 8 号 令和 3 年度前橋市新エネルギー発電事業特別会計予算
 - 議案第 9 号 令和 3 年度前橋市用地先行取得事業特別会計予算
 - 議案第 10 号 令和 3 年度前橋市産業立地推進事業特別会計予算
 - 議案第 11 号 令和 3 年度前橋市水道事業会計予算
 - 議案第 12 号 令和 3 年度前橋市下水道事業会計予算
 - 議案第 13 号 令和 2 年度前橋市一般会計補正予算
 - 議案第 14 号 令和 2 年度前橋市国民健康保険特別会計補正予算
 - 議案第 15 号 令和 2 年度前橋市後期高齢者医療特別会計補正予算
 - 議案第 16 号 令和 2 年度前橋市競輪特別会計補正予算
 - 議案第 17 号 令和 2 年度前橋市農業集落排水事業特別会計補正予算
 - 議案第 18 号 令和 2 年度前橋市介護保険特別会計補正予算
 - 議案第 19 号 令和 2 年度前橋市新エネルギー発電事業特別会計補正予算
 - 議案第 20 号 令和 2 年度前橋市産業立地推進事業特別会計補正予算
 - 議案第 21 号 令和 2 年度前橋市水道事業会計補正予算
 - 議案第 22 号 令和 2 年度前橋市下水道事業会計補正予算
 - 議案第 23 号 前橋市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の改正について

- 議案第24号 前橋市一般職の職員の給与に関する条例の改正について
 議案第25号 前橋市職員の特殊勤務手当に関する条例の改正について
 議案第26号 前橋市個人番号カード利用条例の改正について
 議案第27号 前橋市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の改正について
 議案第28号 前橋市敬老祝金条例の改正について
 議案第29号 前橋市食品衛生に関する条例の廃止について
 議案第30号 前橋市保健所関係使用料及び手数料条例の改正について
 議案第31号 前橋市福祉医療費の支給に関する条例の改正について
 議案第32号 前橋市国民健康保険条例の改正について
 議案第33号 前橋市国民健康保険税条例の改正について
 議案第34号 前橋市新型コロナウイルス感染症対応中小企業経営支援基金条例の制定について
 議案第35号 前橋市西善・中内地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定について
 議案第36号 前橋市建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律関係手数料条例の改正について
 議案第37号 前橋市道路占用料徴収条例の改正について
 議案第38号 包括外部監査契約の締結について
 議案第39号 物品の購入について（令和3年度小・中学校教師用指導書）
 議案第40号 土地の買入れについて（西善中内産業用地）
 議案第41号 土地の買入れについて（前橋市新設道の駅整備運営事業用地）
 議案第42号 市道の認定について
 議案第43号 市道の廃止について
 議案第44号 公の施設の指定管理者の指定について（前橋市富士見温泉見晴らしの湯ふれあい館）
 議案第45号 群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について
 議案第46号 前橋市固定資産評価審査委員会条例の改正について
 議案第47号 前橋市指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の改正について
 議案第48号 前橋市介護保険条例の改正について
 議案第49号 前橋市指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の改正について
 報告第1号 土地の買入れの専決処分について（前橋市新設道の駅整備運営事業用地）
 （以上50件一括上程・説明）

第12 休会の議決

議 席 一 覧 表

令和3年第1回定例会

議席番号	氏 名	議席番号	氏 名
1 番	吉 田 直 弘	20 番	富 田 公 隆
2 番	宮 崎 裕 紀 子	21 番	須 賀 博 史
3 番	大 澤 智 之	22 番	鈴 木 数 成
4 番	山 田 秀 明	23 番	小 林 久 子
5 番	佐 藤 祥 平	24 番	藤 江 彰
6 番	市 村 均 光	25 番	中 里 武
7 番	入 澤 繭 子	26 番	小 曾 根 英 明
8 番	岡 正 己	27 番	笠 原 久
9 番	高 橋 照 代	28 番	金 井 清 一
10 番	小 岩 井 僚 太	29 番	新 井 美 加
11 番	堤 波 志 芽	30 番	鈴 木 俊 司
12 番	小 湊 一 明	31 番	長 谷 川 薫
13 番	林 幸 一	32 番	三 森 和 也
14 番	豊 島 孝 男	33 番	石 塚 武
15 番	近 藤 好 枝	34 番	浅 井 雅 彦
16 番	角 田 修 一	35 番	岡 田 修 一
17 番	新 井 美 咲 子	36 番	中 林 章
18 番	窪 田 出	37 番	阿 部 忠 幸
19 番	近 藤 登	38 番	横 山 勝 彦

常 任 委 員 一 覧 表

委 員 会 名	委 員
総 務 常任委員会	入 澤 繭 子 小 湊 一 明 林 幸 一 近 藤 登 鈴 木 数 成 中 里 武 金 井 清 一 長谷川 薫 三 森 和 也 横 山 勝 彦
教 育 福 祉 常任委員会	宮 崎 裕 紀 子 山 田 秀 明 市 村 均 光 高 橋 照 代 堤 波 志 芽 近 藤 好 枝 角 田 修 一 窪 田 出 章 浅 井 雅 彦 中 林 章
市 民 経 済 常任委員会	大 澤 智 之 小 岩 井 僚 太 富 田 公 隆 須 賀 博 史 小 林 久 子 新 井 美 加 石 塚 武 岡 田 修 一 阿 部 忠 幸
建 設 水 道 常任委員会	吉 田 直 弘 佐 藤 祥 平 岡 正 己 豊 島 孝 男 新 井 美 咲 子 藤 江 彰 小 曾 根 英 明 笠 原 久 鈴 木 俊 司

議 会 運 営 委 員 一 覧 表

氏 名
豊 島 孝 男
角 田 修 一
近 藤 登
富 田 公 隆
須 賀 博 史
鈴 木 数 成
中 里 武
長谷川 薫
阿 部 忠 幸

◇ 3月9日（火）〔第2日〕

議会運営委員の選任、代表質問

議題に入る前に事務局長から諸般の報告として、3月3日に委員会を開催し、委員長及び副委員長の互選を行った結果、総務常任委員長に林議員、同副委員長に小淵議員、教育福祉常任委員長に窪田議員、同副委員長に堤議員、市民経済常任委員長に新井美加議員、同副委員長に小林議員、建設水道常任委員長に新井美咲子議員、同副委員長に豊島議員、議会運営委員長に鈴木（数）議員、同副委員長に角田議員がそれぞれ当選した旨の報告があった。

次に、富田議員の議会運営委員の辞任に伴い、窪田議員の議会運営委員の選任を行った。

続いて、前橋令明から阿部議員、前橋高志会から近藤（登）議員、市民フォーラムから角田議員、日本共産党市議団から長谷川議員、公明党市議団から中里議員がそれぞれ代表質問を行った後、10日を休会と決め、午後4時51分に散会した。

議事日程第2号

第1回定例会
令和3年3月9日（火）
午前10時開議

第1 議会運営委員の選任

第2 代表質問

議案第1号から第49号まで、及び報告第1号
（以上50件等に対する代表質問）

第3 休会の議決

代 表 質 問 一 覧 表

(3月9日) 1/2

令和3年第1回定例会

発言 順序	氏 名	通告 時間	件 名	要 旨
1	37 阿部 忠幸	30	1 当初予算と財政運営について 2 新型コロナウイルス感染症対策について 3 第七次前橋市総合計画について 4 教育、人づくりについて 5 結婚、出産、子育てについて 6 健康、福祉について 7 産業振興について 8 シティプロモーションについて 9 都市基盤について 10 公営企業について	(1) 予算編成の考え方 (2) 財政運営 (1) 取組状況 (2) ワクチン接種 (3) 事業者支援 (1) これまでの成果 (2) 見直しの視点及び今後の取組 (1) GIGAスクール (2) 児童生徒の思い出づくり (1) 結婚支援 (2) 子育て支援 (1) CCRC事業 (2) 敬老祝金 (1) 企業誘致 (2) 女性職員活躍 (3) ローズタウン (1) スーパーシティ構想 (2) 新たな道の駅 (1) 都市計画道路 (2) 公共交通網整備 (3) 県有施設 (1) 財政運営 (2) 水質浄化センター
2	19 近藤 登	30	1 令和3年度一般会計当初予算について 2 本市の行政運営について 3 本市の教育行政について 4 市長の政治姿勢について	(1) コロナ禍を踏まえた予算編成の基本的考え方 (2) 今後の財政見通しと財政運営の考え方 (3) プライマリーバランスと財政調整基金 (1) 新型コロナウイルス感染症に係る施策 (2) 給食センターでのクラスター発生時の対応 (3) 林業振興 (4) 公共交通の最適化Ma eMa a S (5) 移住施策の積極展開 (6) スーパーシティ構想とスローシティの市民理解 (7) 中心市街地再開発の進捗と今後の見通し (8) 新最終処分場と新清掃工場の整備予定 (9) 拡大した行政サービスの見直し (1) GIGAスクールの取組 (2) コミュニケーション能力の育成 (3) 道徳教育の充実 (1) 群馬県との連携 (2) 情報発信の適切化 (3) 市議選の対応
3	16 角田 修一	30	1 新型コロナウイルスについて 2 市長の政治姿勢について 3 令和3年度当初予算案について 4 第七次前橋市総合計画について 5 前橋市議会議員選挙について	(1) 新型コロナウイルスワクチン接種 (2) 地域の経済対策 (1) 前橋市議会議員選挙 (2) アクエル前橋の学習スペース (3) 群馬県民会館の存続 (4) 前橋市スーパーシティ構想 (1) 教育、人づくり (2) 結婚、出産、子育て (3) 健康、福祉 (4) 産業振興 (5) シティプロモーション (6) 都市基盤 (1) 投票率向上

代 表 質 問 一 覧 表

(3月9日) 2/2

令和3年第1回定例会

発言 順序	氏 名	通告 時間	件 名	要 旨
4	31 長谷川 薫	30	1 新年度予算編成の基本的立場について 2 新型コロナウイルス感染症対策の充実について 3 G I G Aスクール構想の問題点について 4 スーパーシティ構想の問題点について	(1) 市民サービス削減の中止 (2) 公共施設の民間譲渡検討の中止 (3) 大型開発事業の見直し (1) P C R検査の拡充 (2) 小規模事業者への支援 (3) 医療機関への財政支援 (4) 保育労働者への支援 (5) ワクチン接種 (1) 推進計画 (2) 財政負担及び父母負担 (1) マイナンバー制度 (2) 監視社会の危険性 (3) 対面サービスの後退
5	25 中里 武	30	1 令和3年度予算策定について 2 行政運営について 3 人をはぐくむまちづくりについて 4 希望をかなえるまちづくりについて 5 生涯活躍のまちづくりについて 6 活気あふれるまちづくりについて 7 魅力あふれるまちづくりについて 8 持続可能なまちづくりについて	(1) 施策の重点 (2) 財政の見通し (1) デジタル社会の実現に向けた I T化の推進 (1) 学校教育情報化推進計画 (1) 若者の結婚、出産に悩む方への相談、支援 (2) 子育てに悩む方への相談、支援 (1) 新型コロナウイルスワクチン接種 (2) 切れ目のない支援策 (1) 今後の産業団地と企業誘致 (2) 時代の変化に対応した農業経営 (1) 温泉3施設と新たな道の駅の連携 (2) 東京オリンピック・パラリンピック、ホストタウンの役割 (1) M a e M a a S 実現へ向けた取組 (2) スーパーシティ構想 (3) 上下水道事業の経営戦略

※通告時間は質問時間（答弁は含まない）

◇ 3月11日(木) [第3日]

総括質問

議事に入る前に、十年前の東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福を祈り、出席者全員で黙祷を行った。

次に、鈴木(俊)、笠原、堤、三森、小渕、近藤(好)、新井美咲子、山田、豊島各議員から総括質問が行われた。

続いて、12日から14日までの3日間を休会することに決め、午後4時24分に延会した。

議事日程第3号

第1回定例会

令和3年3月11日(木)

午前10時開議

第1 総括質問

議案第1号から第49号まで、及び報告第1号

(以上50件等に対する総括質問)

第2 休会の議決

総括質問一覧表

(3月11日) 1/2

令和3年第1回定例会

発言 順序	氏 名	通告 時間	件 名	要 旨
1	30 鈴木 俊司 (一問一答)	3 1	1 新型コロナウイルスワクチンについて 2 公共交通について 3 情報教育推進事業について 4 福祉施策について 5 地域の諸課題について	(1) これまでの経過と状況 (2) 組織機構改革 (3) 県との連携 (4) 新型コロナウイルスワクチン接種体制 (5) ワクチン接種事業と課題 (1) 本市の公共交通の現状 (2) A I 配車タクシー (3) 課題 (1) G I G A スクール構想の実施 (2) 課題 (1) 各地区敬老会 (2) 敬老祝金 (1) 市道 22-8085 号線 (2) 新たな道の駅の施設
2	27 笠原 久 (複合)	3 9	1 本市の当初予算について 2 学校の統廃合について 3 水質浄化センター更新について 4 結婚支援事業について	(1) 市税 (2) 地方消費税交付金 (3) 地方交付税 (4) 財政調整基金 (1) これまでの経緯 (2) 今後の取組 (3) 廃校後の利活用 (1) 内容 (2) 予算 (3) 工期 (4) 取組 (1) 取組状況 (2) 令和3年度以降の取組 (3) ぐんま縁結びネットワーク事業
3	11 堤 波志芽 (一問一答)	3 0	1 観光対策について 2 経済対策について 3 貧困対策について 4 地域の諸課題について	(1) 三大まつり (2) 赤城山の観光事業 (1) キャッシュレスポイント還元事業 (2) I T 化推進補助金 (3) ニューノーマル支援事業 (1) こども宅食 (1) 前橋城大手門の石垣の状況 (2) 馬場川の今後 (3) 旧日赤病院跡地の今後 (4) アクエル前橋の学習スペース (5) 県有地の活用 (6) 県庁周辺のまちづくり
4	32 三森 和也 (一問一答)	5 1	1 第七次前橋市総合計画 2021 年度改訂版(案)について 2 新型コロナウイルス感染症対策について 3 各種選挙における投票について 4 人権施策について 5 福祉施策の充実について 6 教育環境整備について 7 本市職員の働き方について 8 安心安全なまちづくりについて 9 動物愛護について 10 南部地区の諸課題について	(1) 公立保育所の在り方 (1) ワクチン接種 (2) 介護事業所運営支援 (1) 投票率 (2) 医療機関や入所施設の不在者投票 (3) 投票所における意志表示の在り方 (1) 感染症予防に対応した整備 (2) 改正バリアフリー法に伴う整備 (1) 動物愛護センター (2) 動物愛護推進員

総括質問一覧表

(3月11日) 2/2

令和3年第1回定例会

発言 順序	氏 名	通告 時間	件 名	要 旨
5	12 小 淵 一 明 (一問一答)	3 0	1 マイナンバーカード交付事業について 2 中小企業経営振興資金補助について 3 スーパーシティ構想に向けた本市の取組について 4 5G実験結果について 5 嶺公園樹林墓地販売について 6 地域の諸課題について	(1) 成果と課題 (2) 今後の取組 (1) 現状までの流れ (2) 今後の予算内訳 (3) 資金繰り支援 (1) スーパーシティの概要と本市の取組 (2) スケジュール (3) 連携事業者 (1) 実験内容 (2) 結果と今後 (1) 現状と課題 (2) 課題への取組 (3) 樹林墓地の目的 (4) 販売スケジュール (1) 群大附中通り
6	15 近 藤 好 枝 (一問一答)	2 5	1 通院、買い物にもっと便利な公共交通の拡充について 2 がん検診無料化の堅持について 3 苗ヶ島の大規模木質火力発電所の公害規制について	(1) マイタクの改善 (2) マイバスの改善 (3) デマンドバスの改善 (1) この間の成果 (2) 現行無料制度の維持 (1) 問題点と改善
7	17 新 井 美 咲 子 (一問一答)	2 5	1 生涯活躍のまちづくりについて 2 希望をかなえるまちづくりについて 3 安全で安心して暮らせるまちづくりについて 4 こんにちは収集について	(1) 感染症対策 (2) 免疫力アップの取組 (3) 課題 (4) 健康寿命延伸の取組 (5) 検診、健診事業 (1) 第七次総合計画の改定 (2) 子育てと仕事の両立 (3) 公立保育所の役割 (1) 土地区画整理事業
8	4 山 田 秀 明 (一問一答)	3 9	1 防災マップについて 2 一般廃棄物処理基本計画の改定について 3 特定家畜伝染病予防対策について 4 東部地域における道路の整備状況について 5 市街化調整区域における諸課題について	(1) 現状 (2) 課題 (3) 展開 (1) 現在の状況 (2) 展開 (1) 現在の状況 (2) 今後の取組 (1) 前橋笠懸道路 (2) 苗ヶ島飯土井線 (1) 課題と今後の展開 (2) 開発行為の規制緩和
9	14 豊 島 孝 男 (一問一答)	3 0	1 消防団について 2 家畜導入事業について 3 道路上標識について 4 放課後児童クラブの運営について 5 地域の諸課題について	(1) 現状 (2) 貸与品装備状況 (3) 処遇 (4) 消防団車 (1) 肉牛生産支援事業 (2) 今後の方向性 (1) 道路標示と区画線の対応 (1) 公募による運営者変更の状況 (2) 今後の方針 (3) 地域の関わり (1) みやぎ児童クラブ

◇ 3月15日(月)[第4日]

総括質問、委員会付託、付託省略議案の討論、表決

11日に引き続き、藤江、須賀、金井、市村、浅井、小林、石塚、吉田、高橋、岡、入澤、岡田各議員から総括質問が行われた。

次に、上程中の議案第1号から第12号まで、第23号から第33号まで、第35号から第38号まで、第40号から第44号まで及び第46号から第49号まで、以上36件は、さらに詳しく審査するため所管の常任委員会に付託(議案付託は62ページ～65ページ参照)された。同じく上程中の議案第13号から第22号まで、第34号、第39号、第45号及び報告第1号、以上14件は、委員会付託が省略され、議案第13号、第20号及び報告第1号、以上3件について近藤(好)議員から反対討論が行われた。その後、表決の結果、議案第13号、第20号及び報告第1号、以上3件は賛成多数で可決、承認された。残る議案第14号から第19号まで、第21号、第22号、第34号、第39号及び第45号、以上11件は賛成全員で原案のとおり可決された。

続いて、16日から25日までの10日間を休会と決め、午後5時3分に散会した。

議事日程第4号

第1回定例会

令和3年3月15日(月)

午前10時開議

第1 総括質問

議案第1号から第49号まで、及び報告第1号

(以上50件等に対する総括質問・議案第1号から第12号まで、第23号から第33号まで、第35号から第38号まで、第40号から第44号まで、第46号から第49号まで、以上36件各常任委員会付託。第13号から第22号まで、第34号、第39号、第45号、及び報告第1号、以上14件委員会付託省略、討論、表決)

第2 休会の議決

総括質問一覧表

(3月15日) 1/2

令和3年第1回定例会

発言 順序	氏 名	通告 時間	件 名	要 旨
1	24 藤江 彰 (一問一答)	4 0	1 教育行政について 2 防災、減災について 3 福祉施策について 4 産業政策について 5 都市計画について	(1) 少人数学級 (2) 教育の情報化 (3) 学校給食 (1) 内閣府中央防災会議における提言 (2) 防災リーダーの育成 (3) 分散避難 (4) 避難所における女性への配慮 (1) 児童福祉 (1) 在籍型出向 (2) 企業立地の推進 (1) 用途地域の変更
2	21 須賀 博史 (一問一答)	3 0	1 温泉3施設について 2 敷島浄水場について 3 学校の改修事業について 4 商店街について 5 動物愛護について 6 敷島エリアランドデザインについて 7 パークPFIについて	(1) 指定管理料 (2) 管理運営 (3) 今後の見通し (1) 現状 (2) 今後 (1) 現状 (2) 今後 (1) 現状 (2) 街路灯 (1) 現状 (2) 今後 (1) 経緯と目的 (2) 今後 (1) 現状 (2) 今後
3	28 金井 清一 (一問一答)	3 9	1 市政の課題について 2 地域の課題について	(1) 財政運営 (2) 教育 (図書館、タブレット端末の運用) (3) 自殺、ひきこもり対応 (4) 温泉施設 (1) ため池 (2) 市道 00-065 号線 (泉橋通線) (3) 亀泉清掃工場跡地の利活用
4	6 市村 均光 (一問一答)	3 0	1 不登校支援の状況について 2 孤独、孤立対策について 3 ふるさと納税について 4 生活困窮者自立支援事業について 5 地域の諸課題について	(1) 前橋市の現状 (2) 適応指導教室 (3) 民間団体との連携 (4) 今後の取組 (1) 現状 (2) 今後の取組 (1) 現状 (2) 企業版ふるさと納税 (3) タイガーマスク運動 (1) まえばし学習支援事業の実施状況 (2) コロナ禍における学習支援の状況 (1) 前橋総合運動公園整備事業
5	34 浅井 雅彦 (一問一答)	2 0	1 公共交通について 2 アーツ前橋について 3 地域の諸課題について	(1) 前橋版MaaS (2) シェアサイクル (1) 収蔵品の管理 (2) 運営体制と今後の方針 (1) 東地区排水計画検討業務 (2) 都市計画道路上新田前箱田線
6	23 小林 久子 (一問一答)	2 5	1 3温泉施設の休館と市の責任について 2 子育て応援施策の推進について	(1) 施設設置者としての責任 (2) 指定管理者との協定締結の在り方 (3) 休館期間の短縮 (1) 学校給食費の完全無料化 (2) 国保の均等割減免 (3) 高校生の医療費完全無料化

総括質問一覧表

(3月15日) 2/2

令和3年第1回定例会

発言 順序	氏 名	通告 時間	件 名	要 旨
7	33 石塚 武 (一問一答)	2 5	1 スーパーシティ構想について 2 マイナンバーカードの活用について 3 群馬総社駅西口開設について 4 産業政策について	(1) 救急搬送の高度化 (2) パーソナルヘルスレコードの構築 (3) 人工知能(AI)を活用した窓口案内 (4) 市民への理解 (1) マイナポータルびったりサービス (2) スイカとのひもづけ (1) 西口開設、東西自由通路 (2) 総社らしい駅舎、西口駅前広場 (1) テレワーク (2) 前橋市創業センター
8	1 吉田 直弘 (一問一答)	2 4	1 済生会前橋病院存続の支援について 2 平和事業の充実について 3 総社古墳群の保存、整備について	(1) 地域医療機関としての役割 (2) 取組の強化 (1) 検討会の提言 (2) 平和資料館の早期設立 (1) 発掘調査の成果 (2) 予算の増額
9	9 高橋 照代 (一問一答)	2 4	1 前橋市国土強靱化地域計画について 2 男女共同参画について 3 動物との共生社会について	(1) 要配慮者利用施設の避難確保計画 (2) 情報発信の充実 (3) 防災備蓄の拡充 (1) 方針決定の場における女性登用の現状 (2) 市役所幹部職の現状 (3) 女性の市政参画 (1) ドッグランの設置 (2) 猫の去勢・不妊手術費補助事業
10	8 岡 正己 (一問一答)	2 0	1 シティプロモーションについて 2 前橋市の教育について 3 文化政策について 4 ウィズコロナの経済対策について	(1) 今後の方向性 (2) 移住施策 (3) サテライトオフィス誘致 (4) リノベーションまちづくり (5) 全庁的なシティプロモーション (1) タブレット活用の具体的な効果 (1) アーツ前橋 (1) 市内店舗応援電子チケット事業
11	7 入澤 繭子 (一問一答)	2 0	1 学校運営について 2 持続可能なまちづくりについて 3 希望をかなえるまちづくりについて	(1) 学校内でのマスク着用 (2) 前橋版コミュニティ・スクール (3) 民間団体との連携 (4) GIGAスクール構想 (1) 公共交通の充実と利便性 (1) 子育て支援の推進
12	35 岡田 修一 (複合)	2 0	1 健康医療都市について 2 児童生徒の学習について 3 歴史と文化のまちづくりについて 4 温泉施設の管理運営について	(1) 医療及び介護従事者 (2) 健康医療産業 (1) 徳育、体育、体験学習 (1) 県民会館 (2) 歴史文化イベント (1) 萩窪温泉あいのやまの湯、粕川温泉元気ランド、富士見温泉ふれあい館

討 論 一 覧 表

(委員会付託省略議案)

令和3年3月15日

発言 順序	氏 名	賛 否	摘 要
1	15 近 藤 好 枝	反 対	議案第13号、第20号、 報告第1号

表 決 順 序 調 べ

(委員会付託省略議案)

令和3年3月15日

表決 順序	議 案 番 号	摘 要
1	議案第13号、第20号、報告第1号 (以上3件)	共 産 党 反 対
2	議案第14号～第19号、第21号、第22号、 第34号、第39号、第45号 (以上11件)	全 員 賛 成

◇ 3月26日（金）〔第5日〕

委員会の議案審査報告、討論、表決、修正案の上程、質疑、討論、表決、市長提出追加議案の上程、表決、意見書案の上程、表決、閉会中の継続審査の申出、市長挨拶

議事に入る前に事務局長から諸般の報告が行われた。

次に、各常任委員会に付託された議案第1号「令和3年度前橋市一般会計予算」など36件の議案の審査結果が、各常任委員長から報告された。

続いて、阿部議員以下5名から提出された議案第28号の修正案が上程され、豊島議員の提案理由の説明に続いて、長谷川議員からの質疑に対し、阿部、近藤（登）各議員から答弁があった。

その後、近藤（好）議員から議案第28号及び修正案に対する反対討論が行われ、表決の結果、議案第28号の修正案は賛成多数で可決、議案第28号の修正部分を除く、その他の部分は賛成多数で原案のとおり可決された。

次に、議案第1号から第4号まで、第6号、第10号から第12号まで、第26号、第31号、第35号、第40号、第41号、第44号及び第47号から第49号まで、以上17件に対する反対討論が小林議員から、第28号を除く全議案に対する賛成討論が須賀、窪田、三森、高橋各議員から行われ、表決の結果、議案第1号から第4号まで、第6号、第10号から第12号まで、第26号、第31号、第35号、第40号、第41号、第44号及び第47号から第49号まで、以上17件は、賛成多数で、残る議案第5号、第7号から第9号まで、第23号から第25号まで、第27号、第29号、第30号、第32号、第33号、第36号から第38号まで、第42号、第43号及び第46号、以上18件は、賛成全員で、原案のとおり可決された。

続いて、副市長に中島實さんを選任、監査委員に小曾根、中林各議員を選任、教育委員会の委員に高濱正伸さんを任命、人権擁護委員の候補者に田村千代子さんを推薦する市長提出追加議案と議案第55号「令和2年度前橋市一般会計補正予算」以上6件が上程され、提案理由の説明の後、表決が行われ、議案第53号は賛成多数で、残る議案第50号から第52号まで、第54号及び第55号以上5件は賛成全員で、同意及び可決された。

次に、意見書案第1号「新型コロナウイルス感染症の影響による自殺対策強化についての意見書」以下12件が上程され、表決の結果、意見書案第1号及び第2号は賛成全員で可決され、第3号から第12号までの10件は、賛成少数で否決された。

以上全ての審議終了後、山本市長から挨拶があり、午後4時1分に第1回定例会は閉会した。

議事日程第5号

第1回定例会
令和3年3月26日(金)
午後1時開議

第1 市長提出議案の付議

(議案第1号から第12号まで、第23号から第33号まで、第35号から第38号まで、第40号から第44号まで、第46号から第49号まで、以上36件に対する各常任委員会審査報告・質疑、討論、表決)

・修正案上程

議案第28号(修正案) 前橋市敬老祝金条例の改正についての修正について
(上程・説明、質疑、討論、表決)

第2 市長提出追加議案の上程

議案第50号 副市長の選任について

(上程・説明、質疑、討論、表決)

議案第51号 監査委員の選任について

議案第52号 監査委員の選任について

(以上2件一括上程・説明、質疑、討論、表決)

議案第53号 教育委員会の委員の任命について

議案第54号 人権擁護委員の候補者の推薦について

議案第55号 令和2年度前橋市一般会計補正予算

(以上3件一括上程・説明、質疑、討論、表決)

第3 意見書案の上程

意見書案第1号 新型コロナウイルス感染症の影響による自殺対策強化についての意見書

意見書案第2号 介護施設における高齢者への虐待防止策を求める意見書

意見書案第3号 公立公的病院の統廃合の中止と地域医療の充実を求める意見書

意見書案第4号 国民の命と健康を守るため、医療介護等の充実を求める意見書

意見書案第5号 選択的夫婦別姓の導入のための民法改正を求める意見書

意見書案第6号 デジタル教科書導入について慎重に検証することを求める意見書

意見書案第7号 全額国費で高齢者施設等での社会的検査を実施することを求める意見書

意見書案第8号 国民の命と暮らしを守る新型コロナウイルス感染症対策の実施を求める意見書

意見書案第9号 PCR検査に関する意見書

意見書案第10号 「新子育て安心プラン」による規制緩和を中止し、保育士の処遇改善を求める意見書

意見書案第11号 女性労働者の労働条件の改善と地位向上を求める意見書

意見書案第12号 宇宙航空研究開発機構JAXAへの「敵基地攻撃兵器」の開発協力中止を求める意見書

(以上12件一括上程・説明、質疑、討論、表決)

第4 閉会中の継続調査事件

令和3年3月17日

議長 横山 勝彦 様

総務常任委員会
委員長 林 幸一
(公印省略)

総務常任委員会審査報告書

本委員会に付託を受けた議案は、審査の結果下記のとおり決定したので、会議規則第109条の規定により報告いたします。

記

審 査 月 日 令和3年3月17日

議案 番号	件 名	議決の状況	議決の結果
1	令和3年度前橋市一般会計予算	賛成多数	可決すべきもの
9	令和3年度前橋市用地先行取得事業特別会計予算	賛成全員	可決すべきもの
23	前橋市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の改正について	賛成全員	可決すべきもの
24	前橋市一般職の職員の給与に関する条例の改正について	賛成全員	可決すべきもの
25	前橋市職員の特殊勤務手当に関する条例の改正について	賛成全員	可決すべきもの
26	前橋市個人番号カード利用条例の改正について	賛成多数	可決すべきもの
38	包括外部監査契約の締結について	賛成全員	可決すべきもの
46	前橋市固定資産評価審査委員会条例の改正について	賛成全員	可決すべきもの

令和3年3月18日

議長 横山勝彦様

教育福祉常任委員会
委員長 窪田 出
(公印省略)

教育福祉常任委員会審査報告書

本委員会に付託を受けた議案は、審査の結果下記のとおり決定したので、会議規則第109条の規定により報告いたします。

記

審査月日 令和3年3月18日

議案番号	件名	議決の状況	議決の結果
1	令和3年度前橋市一般会計予算	賛成多数	可決すべきもの
2	令和3年度前橋市国民健康保険特別会計予算	賛成多数	可決すべきもの
3	令和3年度前橋市後期高齢者医療特別会計予算	賛成多数	可決すべきもの
6	令和3年度前橋市介護保険特別会計予算	賛成多数	可決すべきもの
7	令和3年度前橋市母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計予算	賛成全員	可決すべきもの
27	前橋市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の改正について	賛成全員	可決すべきもの
28	前橋市敬老祝金条例の改正について	賛成なし	否決すべきもの
29	前橋市食品衛生に関する条例の廃止について	賛成全員	可決すべきもの
30	前橋市保健所関係使用料及び手数料条例の改正について	賛成全員	可決すべきもの
31	前橋市福祉医療費の支給に関する条例の改正について	賛成多数	可決すべきもの
32	前橋市国民健康保険条例の改正について	賛成全員	可決すべきもの
33	前橋市国民健康保険税条例の改正について	賛成全員	可決すべきもの
47	前橋市指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の改正について	賛成多数	可決すべきもの
48	前橋市介護保険条例の改正について	賛成多数	可決すべきもの
49	前橋市指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の改正について	賛成多数	可決すべきもの

令和3年3月19日

議長 横山勝彦様

市民経済常任委員会
委員長 新井美加
(公印省略)

市民経済常任委員会審査報告書

本委員会に付託を受けた議案は、審査の結果下記のとおり決定したので、会議規則第109条の規定により報告いたします。

記

審査月日 令和3年3月19日

議案 番号	件名	議決の状況	議決の結果
1	令和3年度前橋市一般会計予算	賛成多数	可決すべきもの
4	令和3年度前橋市競輪特別会計予算	賛成多数	可決すべきもの
5	令和3年度前橋市農業集落排水事業特別会計予算	賛成全員	可決すべきもの
8	令和3年度前橋市新エネルギー発電事業特別会計 予算	賛成全員	可決すべきもの
10	令和3年度前橋市産業立地推進事業特別会計予算	賛成多数	可決すべきもの
40	土地の買入れについて（西善中内産業用地）	賛成多数	可決すべきもの

令和3年3月22日

議長 横山勝彦様

建設水道常任委員会
委員長 新井美咲子
(公印省略)

建設水道常任委員会審査報告書

本委員会に付託を受けた議案は、審査の結果下記のとおり決定したので、会議規則第109条の規定により報告いたします。

記

審査月日 令和3年3月22日

議案番号	件名	議決の状況	議決の結果
1	令和3年度前橋市一般会計予算	賛成多数	可決すべきもの
1 1	令和3年度前橋市水道事業会計予算	賛成多数	可決すべきもの
1 2	令和3年度前橋市下水道事業会計予算	賛成多数	可決すべきもの
3 5	前橋市西善・中内地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定について	賛成多数	可決すべきもの
3 6	前橋市建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律関係手数料条例の改正について	賛成全員	可決すべきもの
3 7	前橋市道路占用料徴収条例の改正について	賛成全員	可決すべきもの
4 1	土地の買入れについて(前橋市新設道の駅整備運営事業用地)	賛成多数	可決すべきもの
4 2	市道の認定について	賛成全員	可決すべきもの
4 3	市道の廃止について	賛成全員	可決すべきもの
4 4	公の施設の指定管理者の指定について(前橋市富士見温泉見晴らしの湯ふれあい館)	賛成多数	可決すべきもの

議案第 28 号 (修正案)

前橋市敬老祝金条例の改正についての修正について

令和 3 年 3 月 26 日提出

提出者

前橋市議会議員	阿	部	忠	幸
同	豊	島	孝	男
同	近	藤		登
同	角	田	修	一
同	岡	田	修	一

前橋市敬老祝金条例の一部を改正する条例の修正

議案第 28 号「前橋市敬老祝金条例の一部を改正する条例」を次のように修正する。

第 2 条第 1 号の改正規定中「満 88 歳又は」を削る。

第 3 条の改正規定を次のように改める。

第 3 条第 1 号中「満 80 歳又は」を削る。

令和3年第1回定例会

質 疑 一 覧 表

〔議案第28号（修正案を含む）〕

令和3年3月26日

発言順序	氏 名
1	31 長谷川 薫

討 論 一 覧 表

〔議案第28号（修正案を含む）〕

令和3年3月26日

発言順序	氏 名	賛 否	摘 要
1	15 近 藤 好 枝	反 対	第28号（修正案） 第28号（原 案）

表 決 順 序 調 べ

〔議案第28号（修正案を含む）〕

令和3年3月26日

表決順序	議 案 番 号	摘 要
1	第28号（修正案） 提出者：阿部忠幸 以下5名	共 産 党 反 対
2	第28号（修正議決した部分を除く原案）	共 産 党 反 対

討 論 一 覧 表

〔常任委員会付託議案（議案第28号を除く）〕

令和3年3月26日

発言 順序	氏 名	賛 否	摘 要
1	23 小林久子	反 対	第1号～第4号、第6号、第10号～第12号、 第26号、第31号、第35号、第40号、 第41号、第44号、第47号～第49号
2	21 須賀博史	賛 成	第28号を除く全議案
3	18 窪田 出	賛 成	第28号を除く全議案
4	32 三森和也	賛 成	第28号を除く全議案
5	9 高橋照代	賛 成	第28号を除く全議案

表 決 順 序 調 べ

(常任委員会付託議案)

令和3年3月26日

表決 順序	議 案 番 号	摘 要
1	第1号～第4号、第6号、第10号～第12号、 第26号、第31号、第35号、第40号、第41号、 第44号、第47号～第49号 (以上17件)	共産党反対
2	第5号、第7号～第9号、第23号～第25号、 第27号、第29号、第30号、第32号、第33号、 第36号～第38号、第42号、第43号、第46号 (以上18件)	全 員 賛 成

令和3年第1回定例会

表 決 調 べ

(議案第55号)

令和3年3月26日

表決 順序	議 案 番 号	摘 要
1	議案第55号	全 員 賛 成

意見書案一覧表

意見書案第1号	新型コロナウイルス感染症の影響による自殺対策強化についての意見書
意見書案第2号	介護施設における高齢者への虐待防止策を求める意見書
意見書案第3号	公立公的病院の統廃合の中止と地域医療の充実を求める意見書
意見書案第4号	国民の命と健康を守るため、医療介護等の充実を求める意見書
意見書案第5号	選択的夫婦別姓の導入のための民法改正を求める意見書
意見書案第6号	デジタル教科書導入について慎重に検証することを求める意見書
意見書案第7号	全額国費で高齢者施設等での社会的検査を実施することを求める意見書
意見書案第8号	国民の命と暮らしを守る新型コロナウイルス感染症対策の実施を求める意見書
意見書案第9号	PCR検査に関する意見書
意見書案第10号	「新子育て安心プラン」による規制緩和を中止し、保育士の処遇改善を求める意見書
意見書案第11号	女性労働者の労働条件の改善と地位向上を求める意見書
意見書案第12号	宇宙航空研究開発機構JAXAへの「敵基地攻撃兵器」の開発協力中止を求める意見書

意見書案第1号

令和3年3月26日提出

令和3年3月26日可決

提出者 市議会議員 角 田 修 一
同 近 藤 登
同 中 里 武

新型コロナウイルス感染症の影響による自殺対策強化についての意見書

厚生労働省などが集計した自殺者速報値によると、2020年の全国の自殺者はリーマンショック直後の2009年以来11年ぶりに増加に転じ、前年比約3.7%（750人）増の2万919人、そのうち小中高生の自殺者は440人で過去最多となった。また、女性は14.5%の大幅な増加となっている。これらの自殺増加には、新型コロナウイルスの感染拡大が大きく影響していると見られている。

小中高生については、一斉休校など教育環境の激変によって、新たな悩みに直面していることが懸念されている。また、女性の自殺増加については、女性の就業が多い飲食・宿泊などの業界で経営難による廃業や業務縮小が相次いでいることや、在宅勤務・休校・保育所や介護サービス事業所の閉鎖などによる育児・介護負担の増加、家庭内暴力の増加などの影響が指摘されている。

これまで国は自殺対策基本法を定め、自殺対策に関する国民の理解の増進や各地方自治体を実施する相談、人材育成、普及啓発等への支援など、総合的な自殺対策を実施してきた。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大により、従来の対策だけでは十分とはいえない状況となっている。

よって、国においては、新型コロナウイルス感染症の影響による自殺を防止するため、下記事項について特段の措置を講じられるよう強く要請する。

記

- 1 休校やオンライン授業に伴う小中高生の新たな悩みに対応するため、学校における相談機能を強化すること。
- 2 家庭内における育児・介護負担が増加している現状に鑑み、育児・介護従事者に対する相談体制の強化を図ること。
- 3 自殺防止に関する広報・啓発やSNSを活用した相談窓口を拡充するとともに、自殺対策に取り組むNPOなど民間団体との連携を強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年3月 日

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣 あて

総務大臣

厚生労働大臣

前橋市議会議員 横 山 勝 彦

意見書案第2号

令和3年3月26日提出

令和3年3月26日可決

提出者 市議会議員 角 田 修 一
同 三 森 和 也
同 近 藤 登

介護施設における高齢者への虐待防止策を求める意見書

厚生労働省は、介護施設職員による高齢者への虐待が2019年度に644件に上ったと発表した。通報を受けて自治体が認定したもので、13年連続で過去最多を更新した。

虐待は、殴るなどの身体的虐待が全体の6割を占め、排せつの失敗を人前で話して侮辱するといった心理的虐待や、食事を十分に与えないなどの介護放棄も目立った。

そして、虐待の要因については、職員の「教育・知識・介護技術等の問題」が6割近くを占めており、専門的なケアを提供すべき施設で虐待が頻発していることは、高齢者の尊厳を傷つけ生命を脅かす行為であり、施設管理者の責任は重く家族介護から社会的介護への転換を理念とした介護保険制度の信頼まで揺るがしかねない。

厚生労働省は、職員には経験や知識の積み重ねが必要だが、研修の機会は十分でないことから介護保険法に基づく運営基準を見直し、職員への研修を事業者に義務づけることを検討している。

だが、職員に研修を受けさせる余裕がない等、多くの介護施設においては人手不足が恒常化している中であって人員配置基準の見直しや職員の処遇改善とIT活用などによる業務効率化への支援が必要である。

よって、国においては、施設職員の研修の充実や職員の人員配置基準の見直し、処遇改善に向けた取組など実施し、介護施設における高齢者への虐待防止策を図るよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年3月 日

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣 あて

総務大臣

厚生労働大臣

前橋市議会議員 横 山 勝 彦

意見書案第3号

令和3年3月26日提出

令和3年3月26日否決

提出者	市議会議員	長谷川	薫
	同	近藤	好枝
	同	小林	久子
	同	吉田	直弘

公立公的病院の統廃合の中止と地域医療の充実を求める意見書

厚生労働省は、2019年9月、全国424病院の公立公的病院の統廃合を含む地域医療構想を示した。群馬県内においては、済生会前橋病院、公立碓氷病院、下仁田厚生病院、伊勢崎佐波医師会病院の4病院が「統廃合」の対象病院として名指しされている。

本市にある済生会前橋病院は、323床、約600名の医療従事者が市民の命を守る病院である。24時間受け入れる救急医療機関、群馬県地域災害拠点病院として、本市利根川西部地域の中核医療機関として重要な役割を果たしている。循環器、呼吸器、血液、各種のがん医療をはじめ高度な専門医療を提供し、多くの市民が今後も存続と病院の充実を願っている。

既に2017年度までの10年間で、全国の公立公的病院の1割、94病院が削減され、ベッド数も2万1,000床が削減されてきた。新型コロナウイルス感染症の拡大により、全国では病床不足による医療崩壊の危機に直面し、感染症対策を強化する上でも地域医療の充実はまったなしの課題である。

公立公的病院の統廃合を進めようとする国の動きに、市民の間に不安や動揺も広がっている。新たな新型コロナウイルス感染症への対応に加え、これから先の新型ウイルス感染症への備えを強化する地域医療の充実こそ必要である。

よって、国は、公立公的病院の統廃合を中止し、病床削減ありきの地域医療構想を見直すとともに、コロナ禍において厳しい経営環境に置かれる中でも、住民の健康と医療の充実に努力する各医療機関を支援し、地域医療の充実を図るよう強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年3月 日

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣 あて

総務大臣

厚生労働大臣

前橋市議会議員 横山 勝彦

意見書案第4号

令和3年3月26日提出

令和3年3月26日否決

提出者	市議会議員	長谷川	薫
	同	近藤	好枝
	同	小林	久子
	同	吉田	直弘

国民の命と健康を守るため、医療介護等の充実を求める意見書

新型コロナウイルスによるパンデミックは、日本国内でも大きな影響を広げた。経済活動や国民生活にも深刻な影響を及ぼすとともに「医療崩壊」も取り沙汰され、国民の命と健康が脅かされる事態は今も続いている。これらの感染症対応の中で明らかになったことは、感染症病床や集中治療室の大幅な不足、それらを中心的に担っている公立公的病院の重要性、医師や看護師、介護職員等の人員不足、保健所の不足問題である。

これらの諸問題の背景には、1990年代後半から続いてきた医療、介護、福祉など社会保障費の抑制策や公衆衛生施策の縮減がある。

わずか20年の間に「SARS」「新型インフルエンザ」「MERS」「新型コロナウイルス感染症」と、新たなウイルス感染症との戦いが続き、今後も新たなウイルス感染症への対応が必要になることは明らかである。

新型コロナウイルス感染症対策の教訓を経て、国民の命と健康、暮らしを守り、新たなウイルスの感染拡大や自然災害などの事態の際に経済活動への影響を最小限に抑え込むためにも医療、介護、福祉、そして公衆衛生施策の拡充は喫緊の課題である。

よって、国民が安心して暮らせる社会実現のために、下記の事項の実現を国に求めるものである。

記

- 1 今後も発生が予想される新たな感染症拡大などの事態に対応できるよう、医療、介護、福祉に十分な財源確保を行うこと。
- 2 公立公的病院の再編統合や地域医療構想を見直し、地域の声を踏まえた医療体制の充実を図ること。
- 3 安全安心の医療介護提供体制を確保するため医師、看護師、医療技術職、介護職等を増員すること。
- 4 保健所の増設、保健師等の増員など公衆衛生行政の拡充を図ること。
- 5 ウイルス研究、検査、検疫体制などを強化し拡充すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年3月 日

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣 あて

総務大臣

厚生労働大臣

前橋市議会議員 横山 勝彦

意見書案第5号

令和3年3月26日提出

令和3年3月26日否決

提出者	市議会議員	長谷川	薫
	同	近藤	好枝
	同	小林	久子
	同	吉田	直弘

選択的夫婦別姓の導入のための民法改正を求める意見書

選択的夫婦別姓を求める世論は大きく広がっている。現行の民法は夫婦別姓での婚姻が認められないため、改姓や事実婚、通称使用などによる不利益や不都合を強いられているのが実態である。

また、少子高齢化による一人っ子同士の結婚や子連れ再婚、高齢での結婚が増え、改姓を望まないと考える人や現行の民法では改姓をしなければならないことから結婚を諦めてしまう人がいるため、一層非婚や少子化につながる要因にもなっている。

現在、世界でも夫婦同姓を求めている国は日本以外にはなく、両性の平等と基本的人権を掲げた日本国憲法に反するものである。

このような状況から、国連の女性差別撤廃委員会は、日本政府に対し女性が婚姻前の姓を保持する選択を可能にするよう再三にわたり民法の改正を勧告している。

さらに、2015年12月の最高裁判決においても、夫婦同姓規定を合憲とする一方、選択的夫婦別姓制度の在り方については国会の審議に委ねたところであるが、依然として議論が進まないのは問題である。

既に、5年以上が経過し地方議会からも早期改正の意見書が次々と上がっており、1日も早い国の対応が求められている。

よって、国は、選択的夫婦別姓の導入のために民法改正を直ちに行うよう強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年3月 日

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣 　あて

総務大臣

法務大臣

前橋市議会議員 横山 勝彦

意見書案第6号

令和3年3月26日提出

令和3年3月26日否決

提出者 市議会議員 角 田 修 一
同 三 森 和 也
同 藤 江 彰

デジタル教科書導入について慎重に検証することを求める意見書

文部科学省の有識者会議が、デジタル教科書の活用に関する中間取りまとめ案を策定し、2024年度を本格導入の契機と位置づけ、学校教育の質を高めるために積極活用が必要であると明らかにした。

しかし、現場からは、子供の視力低下や通信環境の確保、書く時間の減少など導入に対して不安の声が上がっている。現場が不安を抱えているようでは、効果的な学習は望めず、なぜデジタル化が必要なのか、どのような教育効果があるのかなどを教員や保護者へしっかりと説明すべきである。

また、海外を見ると、欧州の若者17万人以上を対象にした研究では、デジタル機器より紙媒体で読むほうが理解度が高く、教育では、ゆっくり考え、共感力や批判的な分析力を身につけさせる必要があると結論づけた。脳の発達には紙媒体での学習が望ましいと指摘している。

新年度からは国の実証事業も始まるが、学校関係者からは、紙とデジタルをどう使うと学習効果が高いのか、科学的根拠を示すよう求めている。紙とデジタルにはそれぞれのよさがあり、デジタルを補助教材として生かすことも考慮し、学年や教科、子供の個性に応じた活用方法を検討していくことが不可欠である。

よって、国においては、デジタル教科書の本格導入に当たっては、海外の先行事例を分析するなど、科学的根拠に基づき慎重に検証するよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年3月 日

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣 あて

総務大臣

文部科学大臣

前橋市議会議員 横 山 勝 彦

意見書案第7号

令和3年3月26日提出

令和3年3月26日否決

提出者	市議会議員	長谷川	薫
	同	近藤	好枝
	同	小林	久子
	同	吉田	直弘

全額国費で高齢者施設等での社会的検査を実施することを求める意見書

新型コロナウイルスの感染拡大を抑えるためには、無症状感染者を早期に発見し保護することが重要課題となっている。特に、医療、介護施設でクラスター（集団感染）が多く発生しており、感染者が重症化しやすい高齢者施設等でのPCR検査等の幅広い実施が求められている。

厚生労働省は緊急事態宣言が出ている都道府県に対して、高齢者施設等の従事者の定期的検査を求めるとともに、それ以外の地域においても感染率の高い地域を中心にPCR検査を積極的に行うよう求めている。

このような中、多くの自治体が高齢者施設などで社会的検査を実施していることが明らかになっている。国に先駆けて介護施設の職員に社会的検査を進めてきた東京都世田谷区は、4人の検体を一度に判定するプール方式によるPCR検査を都内23区で初めて導入し、区内の介護や障害者施設の職員ら約1万5,400人を対象に検査を実施している。広島県は、高齢者や障害者施設の職員を対象に、定期的な抗原検査を継続して実施し、福岡県は、高齢者施設と障害者施設の職員にPCR検査を1月から月1回の頻度で実施している。このような検査を行ってきた自治体では感染防止の効果を上げている。

しかし、検査費用は国が半額負担しているが、コロナ禍で財源不足が見込まれる自治体の努力には限界があり、国の責任が問われている。

よって、国は、全額国費で高齢者施設等での社会的検査を実施するよう強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年3月 日

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣 あて

総務大臣

厚生労働大臣

前橋市議会議員 横山 勝彦

意見書案第8号

令和3年3月26日提出

令和3年3月26日否決

提出者 市議会議員 角 田 修 一
同 三 森 和 也
同 藤 江 彰

国民の命と暮らしを守る新型コロナウイルス感染症
対策の実施を求める意見書

新型コロナウイルスは市民生活や経済活動に大きな影響を及ぼしており、変異株の確認もされる中であって、影響長期化が懸念されている。

この間の国の対応は、感染拡大している時期にもかかわらず、GOTOキャンペーンを継続、昨年12月5日には早々と国会を閉じ今年の1月18日まで国会を開かず、感染防止対策や事業者や国民への支援が後手に回った結果、感染拡大が止まらず緊急事態宣言の再発令を余儀なくされており政府の責任は極めて重大である。

一方、ようやく我が国において、ワクチン接種も開始されていることも踏まえ、国民は国による迅速・適切な対応での一刻も早い終息を切望している。

よって、国においては、新型コロナウイルス感染症に関し、「国民の命と暮らしを守る」という立場に立って、下記事項を徹底し、万全の対策を講ずるよう強く求める。

記

- 1 医療・介護・保育・幼児教育などの従事者であるエッセンシャルワーカーには希望者に無料で定期的にPCR検査を行うなど、積極的な検査の拡大を行うこと。
- 2 医療崩壊を防ぐため、全ての医療機関に対して減収分に経済的支援を行うこと。
- 3 コロナ禍での雇用や暮らしを守るため、雇い止めが増加していることから実態に基づく支援を実施すること。
- 4 感染症に関わるいじめや差別、誹謗中傷を防ぐため地方自治体と連携し一層啓発等に取り組むこと。
- 5 地方自治体が営業自粛を求めた際の経済的支援については、緊急事態宣言発令地域であるなしにかかわらず国が十分な財政的措置を講ずること。
- 6 生活困窮者に対して新たな給付も含め十分な支援を行うこと。
- 7 ワクチン接種が全ての国民に早期に行き渡るよう取り組むこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年3月 日

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣 あて

総務大臣

厚生労働大臣

経済産業大臣

前橋市議会議員 横 山 勝 彦

意見書案第9号

令和3年3月26日提出

令和3年3月26日否決

提出者 市議会議員 角 田 修 一
同 三 森 和 也
同 藤 江 彰

PCR検査に関する意見書

新型コロナワクチン接種は、令和3年2月17日より医療従事者への接種が行われているが、順次、65歳以上の高齢者、基礎疾患を有する方等の接種となる。そして一般者へのワクチン接種は時間を要することが明らかである。

また先般の感染症法一部改正により、PCR検査を自費検査で行う民間会社に医療機関との連携を勧告できるようにし、従わない場合、社名を公表する等の措置が講じられた。

希望者がいつでも自費で受けられる新型コロナウイルスのPCR検査が広がっていることから、民間会社や診療所が次々と参入し、2,000円程度で実施しているケースもある。

しかし、公費で実施する行政検査は、対象が症状のある人や濃厚接触者に限られており、医療機関でのPCR検査が保険適用外になると2万円ほど（検査1回当たり1万8,000円+検査判断料1,500円）になってしまうことから、一般家庭において金銭的にも定期的に検査することは難しい。

国において、PCR検査費用等の自治体への支援により、ワクチン接種だけでなく、無料でPCR検査を並行して実施し、陽性者をいち早く隔離し、感染拡大を防ぐことが急務であり、国民の命を守ることはもとより、経済の活性化にもつながることとなる。

よって、国においては、行政と医療機関が一体となって国民に対してPCR検査の徹底を図ることを強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年3月 日

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣 あて

総務大臣

厚生労働大臣

前橋市議会議員 横 山 勝 彦

意見書案第10号

令和3年3月26日提出

令和3年3月26日否決

提出者	市議会議員	長谷川	薫
	同	近藤	好枝
	同	小林	久子
	同	吉田	直弘

「新子育て安心プラン」による規制緩和を中止し、
保育士の処遇改善を求める意見書

政府は、2020年12月に新たな待機児童対策として「新子育て安心プラン」（以下、新プラン）を策定した。新プランは「2021～2024年度までの4年間で14万人分の保育の受け皿整備を目指す」としている。

新プランでは、「魅力向上を通じた保育士の確保」として、潜在保育士の再就職促進の観点から、保育士配置に関する規制緩和を提案した。具体的には、「待機児童が存在する自治体については、各組及びグループに常勤保育士1名以上の配置が必須とする規制を緩和し、全ての保育時間を短時間勤務保育士に替えることができる」とする内容である。

保育の長時間化が進む一方で、職員の配置に関わる最低基準の改善が進まず、保育所の運営には、短時間勤務保育士が欠かせない現実があるが、今回の担任全てを短時間勤務保育士に置き換える規制緩和は問題である。子供が一日の大半を過ごす保育所で、保育士が次々と入れ替わるような細切れ保育では、短時間勤務保育士・常勤保育士ともに、負担が増え、保育の質低下は免れない。

保育士不足は全国的に深刻であり、待機児童解消のためにも保育士確保が緊急の課題である。しかし、保育士配置の規制緩和で対処しようとするれば、保育士不足を改善するどころか逆に深刻化させ、子供と保育士に負担を押しつけることになりかねない。保育士不足の根本的な原因は、仕事量や責任の重さに見合った処遇が実現できていないことにある。保育士の労働条件の改善は、子供たちによりよい保育環境を保障するためにも、保育労働者の権利を守るためにも重要であり、とりわけ賃金は介護労働者などと同様に公定価格が低く抑えられていることが問題である。賃金を含め処遇を大幅に改善することが、保育士不足を解決する近道である。

よって、国は保育の質を確保し、待機児童を解消する上でも、「新プラン」による規制緩和を中止し、保育士の処遇改善をするよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年3月 日

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣 あて

総務大臣

厚生労働大臣

前橋市議会議員 横山 勝彦

意見書案第11号

令和3年3月26日提出

令和3年3月26日否決

提出者	市議会議員	長谷川	薫
	同	近藤	好枝
	同	小林	久子
	同	吉田	直弘

女性労働者の労働条件の改善と地位向上を求める意見書

働く女性は増え続け、全就業者の44%に当たる2,946万人となっている。とりわけ、結婚、出産、子育てなどの時期とも重なる25歳から44歳の女性の増加が大きく、2001年から2018年までの間に、就業率は62%から76.5%へ15%近くも上昇した。多くの女性が、仕事と家庭の両立の大変さ、保育所不足などに悩みながら働いている。働く女性の56%は、パートや派遣、契約社員などの非正規雇用であり、女性の賃金は、正社員同士で比べても男性の75.6%、民間企業の管理職の女性比率は14.8%にすぎない。

働く女性が置かれている差別と格差を是正し、安心して働き続けられる労働条件や職場環境の改善、男女ともに働きながら子育てできる社会条件づくりが喫緊の課題である。

日本は、世界経済フォーラムが発表している「世界平等ランキング」で2019年には世界153か国中121位と過去最低になっている。今こそ、女性の権利を国際水準にするために、国が雇用制度などを抜本的に見直すべきである。

よって、国に対し、下記の施策を強化するように求める。

記

- 1 労働基準法や男女雇用機会均等法、パートタイム・有期雇用労働法などに「同一労働同一賃金」を明記し、格差是正のための実効ある措置を取ること。
- 2 男女雇用機会均等法に「全ての間接差別の禁止」を明記し、結果として一方の性に不利益を与える基準、制度について、広く規制し、是正を図ること。
- 3 性暴力被害者のためのワンストップ支援センターや女性相談窓口を専門体制とし財政支援を抜本的に拡充すること。
- 4 セクシュアルハラスメントやパワーハラスメントをなくすために、ハラスメントの禁止を明記した法整備を行い、ILO仕事の世界における暴力及びハラスメントの撤廃に関する条約を批准すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年3月 日

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣 　あて

総務大臣

厚生労働大臣

前橋市議会議員 横山勝彦

意見書案第12号

令和3年3月26日提出

令和3年3月26日否決

提出者 市議会議員 長谷川 薫
同 近藤 好枝
同 小林 久子
同 吉田 直弘

宇宙航空研究開発機構 JAXA への「敵基地攻撃兵器」の
開発協力中止を求める意見書

国立研究開発法人「宇宙航空研究開発機構 JAXA」(以下 JAXA)の小惑星探査機「はやぶさ2」は、6年の宇宙の旅を経て地球に無事に帰還し、子供たちに大きな夢や希望を届けた。

ところが、防衛省防衛装備庁は、2016年に JAXA と協定を締結し、音速の5倍以上に加速する極超音速飛行を可能とするスクラムジェットエンジンの開発に JAXA を参加させている。

既に、燃焼試験を実施し当該エンジンが使われることになる極超音速誘導弾は、「島嶼防衛」のための武器を名目に行っているが、実際には「敵基地攻撃能力」を持つ事実上の「長距離ミサイル」として開発されていることは明らかである。

しかし、そもそも日本の宇宙開発は、1969年の衆議院決議にも示されているとおり「平和の目的に限り、学術の進歩、国民生活の向上及び人類社会の福祉を図り、合わせて産業技術の発展に寄与するとともに、進んで国際協力に資するためにこれを行う」との立場で進められてきたものである。

このことから、国立法人である JAXA の全ての業務は憲法の平和主義の理念に沿って行われるべきものであり、憲法9条に基づき維持してきた「専守防衛」の原則を超えて、他国に脅威を与える武器開発や宇宙開発に加担することは決して許されないものである。

よって、国は、JAXA への「極超音速誘導弾」に使われるスクラムジェットエンジンの開発研究を含む「敵基地攻撃兵器」の開発などの軍事的な研究開発の協力要請を直ちに中止するよう強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年3月 日

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣 あて

総務大臣

文部科学大臣

経済産業大臣

前橋市議会議員 横山 勝彦

閉会中の継続調査事件一覧

総務常任委員会

- 1 総合計画について
- 2 行財政運営について
- 3 市税の賦課及び収納について
- 4 契約工事監理について
- 5 危機管理、防災、防犯について
- 6 消防及び救急・救助について
- 7 その他総務常任委員会所管に関する事項

教育福祉常任委員会

- 1 社会福祉行政について
- 2 高齢者福祉行政及び介護保険の運営について
- 3 保健所及び国民健康保険の運営について
- 4 学校教育及び生涯学習について
- 5 教育施設の整備について
- 6 その他教育福祉常任委員会所管に関する事項

市民経済常任委員会

- 1 市民生活について
- 2 環境整備及び清掃事業について
- 3 商工業振興・中心商店街の活性化について
- 4 文化政策・スポーツ・観光について
- 5 競輪事業について
- 6 農業振興及び農村整備事業について
- 7 その他市民経済常任委員会所管に関する事項

建設水道常任委員会

- 1 土木事業について
- 2 市街地整備と住宅行政について
- 3 都市計画事業について
- 4 公園整備及び緑化事業について
- 5 上下水道事業について
- 6 その他建設水道常任委員会所管に関する事項

議会運営委員会

- 1 議会の運営に関する事項
- 2 議会の会議規則、委員会条例等に関する事項
- 3 議長の諮問に関する事項

◇ 会 議 結 果

令和3年第1回定例会

1 開 会 令和3年3月 3日

2 閉 会 令和3年3月26日

3 会 期 24日間

4 会議時間

3月 3日 午後0時56分から午後2時58分まで

3月 9日 午前9時58分から午後4時51分まで

3月11日 午前9時59分から午後4時24分まで

3月15日 午前9時57分から午後5時 3分まで

3月26日 午後0時58分から午後4時 1分まで

5 出席議員

第1日（3月 3日） 出席38人 欠席0人

第2日（3月 9日） 出席38人 欠席0人

第3日（3月11日） 出席37人 欠席1人

第4日（3月15日） 出席38人 欠席0人

第5日（3月26日） 出席38人 欠席0人

6 会議状況

件 名	議決年月日	議決の結果
○仮議席の指定	3. 3. 3	別紙のとおり
○議長の選挙	3. 3. 3	当選人 横山 勝彦
○議席の指定	3. 3. 3	別紙のとおり
○会期の決定 3月3日（水）～ 3月26日（金）	3. 3. 3	24日間
○会議録署名議員の指名	3. 3. 3	吉田 直弘 宮崎 裕紀子 大澤 智之
○副議長の選挙	3. 3. 3	当選人 富田 公隆

件名	議決年月日	議決の結果
○常任委員の選任	3. 3. 3	別紙のとおり
○議長の常任委員辞任	3. 3. 3	総務常任委員を辞任
○議会運営委員の選任	3. 3. 3 3. 3. 9	別紙のとおり 窪田 出
○群馬県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙（指名推選）	3. 3. 3	当選人 横山 勝彦 富田 公隆
○市長提出議案の上程		
議案第 1号 令和 3 年度前橋市一般会計予算	3. 3. 26	可 決
議案第 2号 令和 3 年度前橋市国民健康保険特別会計予算	〃	〃
議案第 3号 令和 3 年度前橋市後期高齢者医療特別会計予算	〃	〃
議案第 4号 令和 3 年度前橋市競輪特別会計予算	〃	〃
議案第 5号 令和 3 年度前橋市農業集落排水事業特別会計予算	〃	〃
議案第 6号 令和 3 年度前橋市介護保険特別会計予算	〃	〃
議案第 7号 令和 3 年度前橋市母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計予算	〃	〃
議案第 8号 令和 3 年度前橋市新エネルギー発電事業特別会計予算	〃	〃
議案第 9号 令和 3 年度前橋市用地先行取得事業特別会計予算	〃	〃
議案第10号 令和 3 年度前橋市産業立地推進事業特別会計予算	〃	〃
議案第11号 令和 3 年度前橋市水道事業会計予算	〃	〃
議案第12号 令和 3 年度前橋市下水道事業会計予算	〃	〃
議案第13号 令和 2 年度前橋市一般会計補正予算	3. 3. 15	〃
議案第14号 令和 2 年度前橋市国民健康保険特別会計補正予算	〃	〃
議案第15号 令和 2 年度前橋市後期高齢者医療特別会計補正予算	〃	〃
議案第16号 令和 2 年度前橋市競輪特別会計補正予算	〃	〃
議案第17号 令和 2 年度前橋市農業集落排水事業特別会計補正予算	〃	〃
議案第18号 令和 2 年度前橋市介護保険特別会計補正予算	〃	〃
議案第19号 令和 2 年度前橋市新エネルギー発電事業特別会計補正予算	〃	〃
議案第20号 令和 2 年度前橋市産業立地推進事業特別会計補正予算	〃	〃
議案第21号 令和 2 年度前橋市水道事業会計補正予算	〃	〃
議案第22号 令和 2 年度前橋市下水道事業会計補正予算	〃	〃
議案第23号 前橋市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の改正について	3. 3. 26	〃

件名	議決年月日	議決の結果
議案第24号 前橋市一般職の職員の給与に関する条例の改正について	3. 3. 26	可 決
議案第25号 前橋市職員の特殊勤務手当に関する条例の改正について	〃	〃
議案第26号 前橋市個人番号カード利用条例の改正について	〃	〃
議案第27号 前橋市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の改正について	〃	〃
議案第28号 前橋市敬老祝金条例の改正について	3. 3. 26	可 決 (議案第28号(修正案)可決部分を除く。)
議案第28号 前橋市敬老祝金条例の改正についての修正について (修正案)	〃	可 決
議案第29号 前橋市食品衛生に関する条例の廃止について	〃	〃
議案第30号 前橋市保健所関係使用料及び手数料条例の改正について	〃	〃
議案第31号 前橋市福祉医療費の支給に関する条例の改正について	〃	〃
議案第32号 前橋市国民健康保険条例の改正について	〃	〃
議案第33号 前橋市国民健康保険税条例の改正について	〃	〃
議案第34号 前橋市新型コロナウイルス感染症対応中小企業経営支援基金条例の制定について	3. 3. 15	〃
議案第35号 前橋市西善・中内地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定について	3. 3. 26	〃
議案第36号 前橋市建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律関係手数料条例の改正について	〃	〃
議案第37号 前橋市道路占用料徴収条例の改正について	〃	〃
議案第38号 包括外部監査契約の締結について	〃	〃
議案第39号 物品の購入について(令和3年度小・中学校教師用指導書)	3. 3. 15	〃
議案第40号 土地の買入れについて(西善中内産業用地)	3. 3. 26	〃
議案第41号 土地の買入れについて(前橋市新設道の駅整備運営事業用地)	〃	〃
議案第42号 市道の認定について	〃	〃
議案第43号 市道の廃止について	〃	〃
議案第44号 公の施設の指定管理者の指定について(前橋市富士見温泉見晴らしの湯ふれあい館)	〃 〃	〃 〃
議案第45号 群馬州市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について	3. 3. 15	〃
議案第46号 前橋市固定資産評価審査委員会条例の改正について	3. 3. 26	〃
議案第47号 前橋市指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の改正について	〃	〃
議案第48号 前橋市介護保険条例の改正について	〃	〃
議案第49号 前橋市指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の改正について	〃	〃
議案第50号 副市長の選任について	〃	同 意

件名	議決年月日	議決の結果
議案第51号 監査委員の選任について	3. 3. 26	同 意
議案第52号 監査委員の選任について	〃	〃
議案第53号 教育委員会の委員の任命について	〃	〃
議案第54号 人権擁護委員の候補者の推薦について	〃	〃
議案第55号 令和2年度前橋市一般会計補正予算	〃	可 決
報告第1号 土地の買入れの専決処分について（前橋市新設道の駅整備 運営事業用地）	3. 3. 15	承 認
○意見書案の上程		
意見書案第1号 新型コロナウイルス感染症の影響による自殺対策強化に ついての意見書	3. 3. 26	可 決
意見書案第2号 介護施設における高齢者への虐待防止策を求める意見書	〃	〃
意見書案第3号 公立公的病院の統廃合の中止と地域医療の充実を求める 意見書	〃	否 決
意見書案第4号 国民の命と健康を守るため、医療介護等の充実を求める 意見書	〃	〃
意見書案第5号 選択的夫婦別姓の導入のための民法改正を求める意見書	〃	〃
意見書案第6号 デジタル教科書導入について慎重に検証することを求め る意見書	〃	〃
意見書案第7号 全額国費で高齢者施設等での社会的検査を実施すること を求める意見書	〃	〃
意見書案第8号 国民の命と暮らしを守る新型コロナウイルス感染症対策 の実施を求める意見書	〃	〃
意見書案第9号 PCR検査に関する意見書	〃	〃
意見書案第10号 「新子育て安心プラン」による規制緩和を中止し、保育 士の処遇改善を求める意見書	〃	〃
意見書案第11号 女性労働者の労働条件の改善と地位向上を求める意見書	〃	〃
意見書案第12号 宇宙航空研究開発機構JAXAへの「敵基地攻撃兵器」 の開発協力中止を求める意見書	〃	〃
○閉会中の継続調査事件	3. 3. 26	可 決

—— 常 任 委 員 会 ——

◇ 総務常任委員会

日時・場所 3月3日(水) 議会運営委員会室
開議 午後3時5分 散会 午後3時9分
出席委員 林委員長、小淵副委員長、入澤、近藤(登)、鈴木(数)、中里、金井、長谷川、三森各委員

1 正副委員長の互選

年長委員の長谷川委員が臨時委員長を務め、委員長の互選については、臨時委員長の指名推選により、林委員が選出された。

副委員長については、林委員長の指名推選により、小淵委員が選出された。

2 4月の委員会日程について

4月20日(火) 午後1時から開催することとされた。

×

×

日時・場所 3月15日(月) 議会運営委員会室
開議 午後5時6分 散会 午後5時17分
出席委員 林委員長、小淵副委員長、入澤、近藤(登)、鈴木(数)、中里、金井、長谷川、三森各委員

1 予算審査の運営について

本日の本会議で付託された議案の委員会運営について協議された。

審査日程及び審査事項は、別紙常任委員会予算審査日程表(62ページ参照)のとおり確認され、運営については、別紙常任委員会予算審査運営要項(61ページ参照)のとおり行うこととされた。

また、会議時間については、おおむね午後5時までとなっていること及び通常行っている12時と3時の休憩に加え、新型コロナウイルス感染症対策として審査時間が1時間経過するごとに5分程度の換気休憩を入れることについて、委員長より各委員に協力の要請があった。

次に、発言の申出、及び市長に答弁を求めたい旨の申出は、審査日の2日前、つまり本日までに正副委員長に申し出るものとなっており、委員長を除く8人の委員から発言の申出があり、発言順序については正副委員長に一任され、委員長案のとおり決定された。

なお、市長に答弁を求めたい旨の申出はなかった。

続いて、マイボトルの持込みによる水分補給について、委員長より各委員に伝えられた。

2 閉会中の常任委員会について

(1) 継続調査事件について

別紙閉会中の継続調査事件一覧表（41ページ参照）のとおり確認され、議長宛て申出することが了解された。

(2) 運営申し合わせ事項について

別紙閉会中の常任委員会運営申し合わせ事項（54ページ参照）のとおり進めることで確認された。

3 4月の常任委員会について

(1) 市内視察について

3月11日の正副常任委員長会議において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮し、4月の市内視察は中止とすることが確認された旨、委員長より各委員に伝えられた。

4 行政視察について

3月11日の正副常任委員長会議において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮し、5月の行政視察は中止とすることが確認された旨、委員長より各委員に伝えられた。

×

×

日時・場所	3月17日（水）	第一委員会室
開議	午前 9時55分	休憩 午前10時59分
再開	午前11時 4分	休憩 午前11時59分
再開	午後 0時57分	休憩 午後 2時 1分
再開	午後 2時 6分	休憩 午後 2時59分
再開	午後 3時26分	散会 午後 4時22分
出席委員	林委員長、小淵副委員長、入澤、近藤（登）、鈴木（数）、中里、金井、長谷川、三森各委員	

3月15日の本会議において付託を受けた議案8件（62ページ参照）について、委員長を除く8人の委員から質疑が行われ、表決の結果、別紙総務常任委員会審査報告書（20ページ参照）のとおり決まった。

◇ 教育福祉常任委員会

日時・場所 3月3日(水) 第一委員会室
開議 午後3時2分 散会 午後3時6分
出席委員 窪田委員長、堤副委員長、宮崎、山田、市村、高橋、近藤(好)、角田、浅井、
中林各委員

1 正副委員長の互選

年長委員の浅井委員が臨時委員長を務め、委員長の互選については、臨時委員長の指名推選により、窪田委員が選出された。

副委員長については、窪田委員長の指名推選により、堤委員が選出された。

2 4月の委員会日程について

4月21日(水) 午後1時から開催することとされた。

×

×

日時・場所 3月15日(月) 第一委員会室
開議 午後5時6分 散会 午後5時13分
出席委員 窪田委員長、堤副委員長、宮崎、山田、市村、高橋、近藤(好)、角田、浅井、
中林各委員

1 予算審査の運営について

本日の本会議で付託された議案の委員会運営について協議された。

審査日程及び審査事項は、別紙常任委員会予算審査日程表(63ページ参照)のとおり確認され、運営については、別紙常任委員会予算審査運営要項(61ページ参照)のとおり行うこととされた。

また、会議時間については、おおむね午後5時までとなっていること及び通常行っている12時と3時の休憩に加え、新型コロナウイルス感染症対策として審査時間が1時間経過するごとに5分程度の換気休憩を入れることについて、委員長より各委員に協力の要請があった。

次に、発言の申出、及び市長に答弁を求めたい旨の申出は、審査日の2日前、つまり16日までに正副委員長に申し出るものとなっているが、本日申出を受けることで了承された。

発言の申出については、委員長を除く9人の委員からあり、発言順序については正副委員長に一任され、委員長案のとおり決定された。

なお、市長に答弁を求めたい旨の申出はなかった。

続いて、マイボトルの持込みによる水分補給について、委員長より各委員に伝えられた。

2 閉会中の常任委員会について

(1) 継続調査事件について

別紙閉会中の継続調査事件一覧表（４１ページ参照）のとおり確認され、議長宛て申出することが了解された。

(2) 運営申し合わせ事項について

別紙閉会中の常任委員会運営申し合わせ事項（５４ページ参照）のとおり進めることで確認された。

3 4月の常任委員会について

(1) 市内視察について

3月11日の正副常任委員長会議において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮し、4月の市内視察は中止とすることが確認された旨、委員長より各委員に伝えられた。

4 行政視察について

3月11日の正副常任委員長会議において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮し、5月の行政視察は中止とすることが確認された旨、委員長より各委員に伝えられた。

×

×

日時・場所	3月18日（木）	第一委員会室
開議	午前 9時57分	休憩 午前10時58分
再開	午前11時 4分	休憩 午前11時58分
再開	午後 0時57分	休憩 午後 1時52分
再開	午後 1時57分	休憩 午後 2時56分
再開	午後 3時26分	休憩 午後 4時28分
再開	午後 4時33分	散会 午後 5時44分
出席委員	窪田委員長、堤副委員長、宮崎、山田、市村、高橋、近藤（好）、角田、浅井、中林各委員	

3月15日の本会議において付託を受けた議案15件（63ページ参照）について、委員長を除く9人の委員から質疑が行われ、表決の結果、別紙教育福祉常任委員会審査報告書（21ページ参照）のとおり決まった。

◇ 市民経済常任委員会

日時・場所 3月3日(水) 第二委員会室
開議 午後3時14分 散会 午後3時15分
出席委員 新井美加委員長、小林副委員長、大澤、小岩井、富田、須賀、石塚、岡田、阿部
各委員

1 正副委員長の互選

年長委員の岡田委員が臨時委員長を務め、委員長の互選については、臨時委員長の指名推選により、新井美加委員が選出された。

副委員長については、新井美加委員長の指名推選により、小林委員が選出された。

2 4月の委員会日程について

4月22日(木) 午後1時から開催することとされた。

×

×

日時・場所 3月15日(月) 第二委員会室
開議 午後5時7分 散会 午後5時14分
出席委員 新井美加委員長、小林副委員長、大澤、小岩井、富田、須賀、石塚、岡田、阿部
各委員

1 予算審査の運営について

本日の本会議で付託された議案の委員会運営について協議された。

審査日程及び審査事項は、別紙常任委員会予算審査日程表(64ページ参照)のとおり確認され、運営については、別紙常任委員会予算審査運営要項(61ページ参照)のとおり行うこととされた。

また、会議時間については、おおむね午後5時までとなっていること及び通常行っている12時と3時の休憩に加え、新型コロナウイルス感染症対策として審査時間が1時間経過するごとに5分程度の換気休憩を入れることについて、委員長より各委員に協力の要請があった。

次に、発言の申出、及び市長に答弁を求めたい旨の申出は、審査日の2日前、つまり17日までに正副委員長に申し出るものとなっているが、本日申出を受けることで了承された。

発言の申出については、委員長を除く8人の委員からあり、発言順序については正副委員長に一任され、委員長案のとおり決定された。

なお、市長に答弁を求めたい旨の申出はなかった。

続いて、マイボトルの持込みによる水分補給について、委員長より各委員に伝えられた。

2 閉会中の常任委員会について

(1) 継続調査事件について

別紙閉会中の継続調査事件一覧表（４１ページ参照）のとおり確認され、議長宛て申出することが了解された。

(2) 運営申し合わせ事項について

別紙閉会中の常任委員会運営申し合わせ事項（５４ページ参照）のとおり進めることで確認された。

3 4月の常任委員会について

(1) 市内視察について

3月11日の正副常任委員長会議において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮し、4月の市内視察は中止とすることが確認された旨、委員長より各委員に伝えられた。

4 行政視察について

3月11日の正副常任委員長会議において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮し、5月の行政視察は中止とすることが確認された旨、委員長より各委員に伝えられた。

×

×

日時・場所	3月19日（金）	第一委員会室
開議	午前 9時56分	休憩 午前11時 1分
再開	午前11時 6分	休憩 午前11時58分
再開	午後 0時56分	休憩 午後 2時 3分
再開	午後 2時 8分	休憩 午後 2時59分
再開	午後 3時25分	散会 午後 4時11分
出席委員	新井美加委員長、小林副委員長、大澤、小岩井、富田、須賀、石塚、岡田、阿部各委員	

3月15日の本会議において付託を受けた議案6件（64ページ参照）について、委員長を除く8人の委員から質疑が行われ、表決の結果、別紙市民経済常任委員会審査報告書（22ページ参照）のとおり決まった。

◇ 建設水道常任委員会

日時・場所 3月3日(水) 第三委員会室
開議 午後3時7分 散会 午後3時11分
出席委員 新井美咲子委員長、豊島副委員長、吉田、佐藤、岡、藤江、小曾根、笠原、鈴木(俊)
各委員

1 正副委員長の互選

年長委員の鈴木(俊)委員が臨時委員長を務め、委員長の互選については、臨時委員長の指名推選により、新井美咲子委員が選出された。

副委員長については、新井美咲子委員長の指名推選により、豊島委員が選出された。

2 4月の委員会日程について

4月23日(金)午後1時から開催することとされた。

×

×

日時・場所 3月15日(月) 第三委員会室
開議 午後5時6分 散会 午後5時13分
出席委員 新井美咲子委員長、豊島副委員長、吉田、佐藤、岡、藤江、小曾根、笠原、鈴木(俊)
各委員

1 予算審査の運営について

本日の本会議で付託された議案の委員会運営について協議された。

審査日程及び審査事項は、別紙常任委員会予算審査日程表(65ページ参照)のとおり確認され、運営については、別紙常任委員会予算審査運営要項(61ページ参照)のとおり行うこととされた。

また、会議時間については、おおむね午後5時までとなっていること及び通常行っている12時と3時の休憩に加え、新型コロナウイルス感染症対策として審査時間が1時間経過するごとに5分程度の換気休憩を入れることについて、委員長より各委員に協力の要請があった。

次に、発言の申出、及び市長に答弁を求めたい旨の申出は、審査日の2日前、つまり18日までに正副委員長に申し出るものとなっているが、本日申出を受けることで了承された。

発言の申出については、委員長を除く8人の委員からあり、発言順序については正副委員長に一任され、委員長案のとおり決定された。

なお、市長に答弁を求めたい旨の申出はなかった。

続いて、マイボトルの持込みによる水分補給について、委員長より各委員に伝えられた。

2 閉会中の常任委員会について

(1) 継続調査事件について

別紙閉会中の継続調査事件一覧表（41ページ参照）のとおり確認され、議長宛て申出することが了解された。

(2) 運営申し合わせ事項について

別紙閉会中の常任委員会運営申し合わせ事項（54ページ参照）のとおり進めることで確認された。

3 4月の常任委員会について

(1) 市内視察について

3月11日の正副常任委員長会議において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮し、4月の市内視察は中止とすることが確認された旨、委員長より各委員に伝えられた。

4 行政視察について

3月11日の正副常任委員長会議において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮し、5月の行政視察は中止とすることが確認された旨、委員長より各委員に伝えられた。

×

×

日時・場所	3月22日（月）	第一委員会室
開議	午前 9時55分	休憩 午前11時00分
再開	午前11時 5分	休憩 午前11時56分
再開	午後 0時56分	休憩 午後 2時 4分
再開	午後 2時 9分	休憩 午後 2時58分
再開	午後 3時26分	散会 午後 3時45分
出席委員	新井美咲子委員長、豊島副委員長、吉田、佐藤、岡、藤江、小曾根、笠原、鈴木（俊）各委員	

3月15日の本会議において付託を受けた議案10件（65ページ参照）について、委員長を除く8人の委員から質疑が行われ、表決の結果、別紙建設水道常任委員会審査報告書（23ページ参照）のとおり決まった。

閉会中の常任委員会運営申し合わせ事項

令和3年度

1 委員会の開催について

常任委員会は、原則として毎月1回開催するものとする。ただし、定例会開催月（6月、9月、12月、3月）は除く。

なお、議題が多い場合は月1回にこだわらないこととし、また議題がない場合は中止の連絡を行うこととする。

2 委員会の議題について

各委員会は委員会条例に基づき、その所管事務について調査するものとしているので、当該委員会の所管する範囲での議題とする。

各常任委員会は、議決された閉会中の継続調査事件の調査研究を行う。

その他の議題は、当局からの行政報告、及び委員から当局に報告・説明を求める事項等とする。

なお、委員から当局に報告・説明を求める事項については、委員会開催3日前までにあらかじめ委員長に申し出て、委員長が当局と調整する。

3 当局出席者について

当局の出席者は、議題に直接関係する部課長等とする。

ただし、所管部長は他に特別の所用がある場合を除き、出席するものとする。

4 日程調整について

委員会の日程は、正副委員長が各委員や必要に応じ当局とも調整の上決定することとする。

原則として、次回の委員会の日程は、当該委員会で決めることとする。

—— 議 会 運 営 協 議 会 ——

日時・場所 3月3日(水) 第一委員会室
開議 午前9時56分 散会 午前10時11分
出席議員 横山座長、阿部、鈴木(数)、須賀、近藤(登)、富田、角田、長谷川、中里
各議員
当局出席者 戸塚副市長、総務部長、秘書、行政管理各課長

1 臨時議長について

令和3年第1回定例会は改選後、初めての議会であるので、議長が選出されるまでの間、年長議員が臨時に議長の職務を行うことになっており、横山議員が臨時議長を務めることとされた。

2 議事日程第1号について

(1) 仮議席の指定

仮議席は2月25日の各派代表者会議で確認された議席を指定することとし、議場に入ったら仮議席に着席することとされた。

なお、氏名標は臨時議長が仮議席を指定した後に上げることで確認された。

(2) 議長選挙

投票は単記無記名で、投票の順序は、仮議席順とし、事務局長の点呼により行うこととされた。

なお、開票については会議規則の規定により3人以上の立会人が必要であり、前橋令明・小岩井議員、前橋高志会・山田議員、市民フォーラム・三森議員、共産党・吉田議員、公明党・高橋議員を立会人に指名することで確認された。

また、選出後、議長から挨拶を行い、その後、臨時議長から議長に交代することで確認された。

なお、投票の結果、同点で、最高得票者が確定できない場合は、地方自治法の規定に基づく公職選挙法の準用により「くじ」で決定することとされた。

また、現在新型コロナウイルス感染症対策として議場の扉を開放して会議を行っているが、投票の際は会議規則の規定により一時的に扉を閉めることとし、副議長選挙でも同様に行うことが確認された。

(3) 議席の指定

議席は既に着席している仮議席を指定することとされた。

(4) 会期の決定

会期は、本日から26日までの24日間とすることで確認された。

(5) 会議録署名議員の指名

会議録署名議員は従来どおり今任期を通じ、議席番号順に1番から3名ずつ順次指名することとし、令和3年第1回定例会は1番・吉田議員、2番・宮崎議員、3番・大澤議員の3名を議長から指名することで確認された。

(6) 副議長選挙

投票は議長選挙と同様に単記無記名で、事務局長の点呼により行うこととされた。

なお、開票立会人については議長選挙の際の議員を指名することとされた。

また、選出後、副議長から挨拶を行うことで確認された。

なお、各選挙においては、同姓、あるいは同名の方がいるので、フルネームでの記載に配慮するよう、座長から伝えられた。

(7) 常任委員の選任

常任委員一覧表（6 ページ参照）のとおり、議長の指名により選任することで確認された。

(8) 議長の常任委員辞任

従前同様、許可することで確認された。

(9) 議会運営委員の選任

議会運営委員一覧表（7 ページ参照）のとおり、豊島議員以下9名を議長の指名により選任することで確認された。

(10) 群馬県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙

本件は申合せに基づき、正副議長を選出することとされた。

なお、選挙の方法は、議長の指名推選で行うことで確認された。

(11) 市長提出議案の上程

議案第1号以下50件を一括上程し、初めに市長から令和3年度予算案の概要についての説明があり、続いて、その他の議案については、所管部長から順次説明することとされた。

なお、総務部長から説明所要時間は、おおむね77分との報告があった。

(12) 休会の議決

4日から8日までの5日間を休会とすることで確認された。

3 その他

(1) 代表質問及び総括質問について

別紙代表質問一覧表・総括質問時間割（58 ページ参照）のとおり代表質問は5名から、また総括質問は21名から通告があることで確認された。

次に、代表質問及び総括質問の質問事項の通告は本日午後4時までにを行うことで確認された。

また、質問事項に重複等があった場合の変更については、4日午後4時までに申し出ることとされた。

(2) 請願・意見書案について

請願については提出がなく、意見書案12件の提出があり、提出された意見書案の取扱いについては従前同様、各会派に持ち帰り、9日の議会運営委員会で各会派の検討結果を報告することとされた。

また、起草委員会は16日午前10時から開催することとされ、起草委員についても次期議会運営委員会で氏名を報告することとされた。その際、各会派の起草委員の人数については、従前の例に倣い、会派構成員数を勘案し、前橋令明が2名、前橋高志会、市民フォーラム、共産党、公明党が各1名とすることで確認された。

(3) 委員会の開催について

本日の本会議終了後、正副委員長互選のため、各委員会を開催することとされた。

場所は総務常任委員会を議会運営委員会室、教育福祉常任委員会を第一委員会室、市民経済常任委員会を第二委員会室、建設水道常任委員会を第三委員会室で開催し、各常任委員会終了後、議会運営委員会室で、議会運営委員会を開催することとされた。

なお、互選の方法については、各派代表者会議で確認されたとおり、指名推選により行うこととさ

れた。

(4) 次期議会運営委員会の日程について

次期議会運営委員会は本日の4 常任委員会終了後に行い、その次は代表質問が行われる9 日午前9 時から開催することで確認された。

(5) 強風被害について

総務部長より、3月2日の強風被害について報告があった。

令和3年第1回定例会

代表質問一覧表

月日	順序	議席	会 派	議 員
3 月 9 日 (火)	1	37	前橋令明	阿部 忠幸
	2	19	前橋高志会	近藤 登
	3	16	市民フォーラム	角田 修一
	4	31	共 産 党	長谷川 薫
	5	25	公 明 党	中里 武

総括質問時間割

月日	順序	議席	議 員	通告時間	備 考
3 月 11 日 (木)	1	30	鈴木 俊司	31分	
	2	27	笠原 久	39分	
	3	11	堤 波志芽	30分	
					休憩予定
	4	32	三森 和也	51分	
	5	12	小 渕 一明	30分	
	6	15	近藤 好枝	25分	
	7	17	新井 美咲子	25分	
					休憩予定
3 月 15 日 (月)	8	4	山田 秀明	39分	
	9	14	豊島 孝男	30分	
	10	24	藤江 彰	40分	
	11	21	須賀 博史	30分	
	12	28	金井 清一	39分	
					休憩予定
	13	6	市村 均光	30分	
	14	34	浅井 雅彦	20分	
	15	23	小林 久子	25分	
	16	33	石塚 武	25分	
	17	1	吉田 直弘	24分	
				休憩予定	
	18	9	高橋 照代	24分	
	19	8	岡 正己	20分	
	20	7	入澤 繭子	20分	
	21	35	岡田 修一	20分	

—— 議 会 運 営 委 員 会 ——

日時・場所 3月3日(水) 議会運営委員会室
開議 午後3時14分 散会 午後3時15分
出席委員 鈴木(数)委員長、角田副委員長、豊島、近藤(登)、富田、須賀、中里、長谷川、
阿部各委員

1 正副委員長の互選

年長委員の長谷川委員が臨時委員長を務め、委員長の互選については、臨時委員長の指名推選により、鈴木(数)委員が選出された。

副委員長については、鈴木(数)委員長の指名推選により、角田委員が選出された。

×

×

日時・場所 3月9日(火) 第一委員会室
開議 午前9時3分 散会 午前9時16分
出席委員 鈴木(数)委員長、角田副委員長、豊島、近藤(登)、富田、須賀、中里、長谷川、
阿部各委員
当局出席者 戸塚副市長、総務部長、秘書、行政管理各課長

1 議事日程第2号について

(1) 議会運営委員の選任

富田議員の辞任に伴い、窪田議員を新たに議長の指名により選任することで確認された。

(2) 代表質問

代表質問は阿部議員以下5名から通告があり、質問事項等について別紙代表質問一覧表(9ページ～10ページ参照)のとおり確認された。

(3) 休憩の時刻

昼休みは、近藤(登)議員の質問終了後、午後の休憩は長谷川議員の質問終了後に予定し、時間によっては、変更もあるということで確認された。

(4) 休会の議決

議事の都合上、10日を休会とすることで確認された。

2 その他

(1) 議案の委員会付託について

15日の総括質問終了後、各常任委員会に付託し、続いて、付託省略議案の討論、表決を行うこととされた。

付託議案は常任委員会予算審査日程表（62ページ～65ページ参照）に記載のとおり、新年度当初予算とそれに関連する条例議案及び事件議案とすることで確認され、付託省略議案については、議案第13号以下、14件とすることで確認された。

（2）委員会審査（運営要項案等）について

各常任委員会における予算議案の審査は、別紙常任委員会予算審査運営要項（61ページ参照）のとおり行うこととされた。

また、11日の総括質問1日目の本会議終了後、第一委員会室において、正副常任委員長会議を開催し、運営要項の確認を行い、15日の総括質問2日目の本会議終了後に4常任委員会を開催し、各委員にも確認してもらう予定であるため、会派内において周知するよう伝えられた。

（3）討論通告・表決調べの締め切りについて（付託省略議案）

付託省略議案は、15日の総括質問終了後に討論、表決を行うこととされた。

また、付託省略議案に対する討論通告及び表決調べについては、11日午後3時の休憩終了までとすることで確認された。

（4）意見書案について

3月3日の議会運営協議会で、各会派持ち帰り検討となっていた意見書案について、各会派から意見が発表されたが、各会派の意見が一致する意見書がなかったため、起草委員会は開催されないこととなった。

なお、意見書案の表決調べ等については、意見書の提出会派は提案者と文案を決め、16日午後3時までに事務局へ報告し、その後、事務局で整理し各会派へ意見書案と表決調べの一覧を配付することとされた。次に、表決調べに賛否を記入の上、19日正午までに事務局に提出することで確認された。

また、角田委員から、市民フォーラムが提出した意見書案9番について、文言修正をしたい旨の発言があり、了承された。

（5）第2回定例会以降の会期予定について

第2回定例会から第4回定例会までの会期予定については、第2回及び第4回定例会は総括質問を3日間とし、また人事院勧告への対応を考慮して第4回定例会は11月末から始めることとされた。

なお、第3回定例会で行う決算審査の委員会は4日間を予定することで確認された。

また、長谷川委員より会期予定に関連した発言があった。

（6）次期議会運営委員会の日程について

3月11日（木）午前9時から行うこととされた。

常任委員会予算審査運営要項

令和3年3月

1 委員会の会議時間について

会議時間は午前10時から、おおむね午後5時までとするが、会議の状況により委員長は会議時間を変更することができる。

2 議案の審査について

委員会での議案説明は省略し、ただちに質疑に入る。質疑終了後、討論は本会議に委ね、表決を行う。

3 発言について

(1) 発言の申し出について

委員の発言の申し出については、審査日の2日前までに正副委員長に申し出る。

(2) 発言順序について

委員の発言順序については、正副委員長において調整のうえ決定する。

(3) 発言時間等について

委員の発言時間の制限は行わないが、会議時間内で正副委員長において調整し、必要な場合は時間を延長する。

(4) その他

発言は発言席において行う。

市長は、他に公務がある場合を除いて原則出席するが、市長に答弁を求めたい場合は、発言の申し出と同時に委員長に直接申し出る。

4 その他

(1) その他委員会運営に関する必要事項は、会議規則及び委員会条例の定めるところによる。

(2) 委員会の日程及び付託議案について

(別紙「常任委員会予算審査日程表」のとおり)

常任委員会予算審査日程表

令和3年3月

日	曜	時間	場 所	委員会名	付 託 議 案
17	水	午前 10時	第一委 員会室	総 務 常 任 委 員 会	議案第1号 令和3年度前橋市一般会計予算のうち 総務部、政策部、財務部、消防局等所管に関する歳入 総務部、政策部、財務部、消防局等所管に関する歳出 第1款 議会費 第2款 総務費【第1項 総務管理費 第8目 企画費の一部、 第10目 支所費、 第12目 行政連絡費、 第14目 環境保全対策費、 第15目 諸費の一部、 第3項 戸籍住民基本台帳費、を除く】 第7款 商工費のうち 第1項 商工費 第4目 観光費の一部 第9款 消防費 第10款 教育費のうち 第1項 教育総務費 第2目 事務局費の一部、 第10項 大学費 第12款 公債費 第13款 予備費 議案第9号 令和3年度前橋市用地先行取得事業特別会計予算 議案第23号 前橋市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の改正について 議案第24号 前橋市一般職の職員の給与に関する条例の改正について 議案第25号 前橋市職員の特殊勤務手当に関する条例の改正について 議案第26号 前橋市個人番号カード利用条例の改正について 議案第38号 包括外部監査契約の締結について 議案第46号 前橋市固定資産評価審査委員会条例の改正について

(説 明 員)

市長・副市長

総務部長	稲田 貴 宣	会計管理者	木村 由 美
秘書課長	高松 秀 光	会計室長	鈴木 明
職員課長	宮坂 恵理子	消防局長	関 俊 夫
行政管理課長	小坂 和 成	消防次長	作 宮 朗
防災危機管理課長	田村 聡 史	消防局総務課長	清 水 征 己
契約監理課長	真庭 祐 次	消防局参事(兼) 予防課長	深 澤 浩 之
政策部長	中 畝 剛	警防課長	須 田 常 見
政策部情報政策担当部長	松田 圭 太	通信指令課長	手 島 一 樹
政策推進課長	草野 修 一	選挙管理委員会事務局長	
未来の芽創造課長	谷内田 修 一		阿 部 秀 明
交通政策課長	細谷 精 一	監査委員事務局長	堀 越 規 子
市政発信課長	関口 知 子	議会事務局長	高 野 章
情報政策課長	岡 田 寿 史	議会事務局総務課長	高 橋 之 彦
財務部長	関 哲 哉	議会事務局参事(兼) 議事課長	喜 樂 正 一
財政課長	高 柳 敦		
資産経営課長	青木 一 宏		
収納課長	鈴木 和 弥		
市民税課長	井野 浩 光		
財務部参事(兼) 資産税課長	林 昌 平		

常任委員会予算審査日程表

令和3年3月

日	曜	時間	場 所	委員会名	付 託 議 案
18	木	午前 10時	第一委 員会室	教育福祉 常 任 委 員 会	<p>議案第1号 令和3年度前橋市一般会計予算のうち 福祉部、健康部、教育委員会所管に関する歳入 福祉部、健康部、教育委員会所管に関する歳出 第3款 民生費【第1項 社会福祉費 第1目 社会福祉総務費の一部、 第7目 国民年金費、を除く】 第4款 衛生費のうち 第1項 保健費、 第2項 衛生費 第1目 衛生総務費 第2目 環境衛生費の一部、 第3項 保健所費 第10款 教育費【第1項 教育総務費 第2目 事務局費の一部、 第8項 保健体育費 第1目 保健体育総務費の一部、 第10項 大学費、を除く】</p> <p>議案第2号 令和3年度前橋市国民健康保険特別会計予算 議案第3号 令和3年度前橋市後期高齢者医療特別会計予算 議案第6号 令和3年度前橋市介護保険特別会計予算 議案第7号 令和3年度前橋市母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計予算 議案第27号 前橋市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の改正について 議案第28号 前橋市敬老祝金条例の改正について 議案第29号 前橋市食品衛生に関する条例の廃止について 議案第30号 前橋市保健所関係使用料及び手数料条例の改正について 議案第31号 前橋市福祉医療費の支給に関する条例の改正について 議案第32号 前橋市国民健康保険条例の改正について 議案第33号 前橋市国民健康保険税条例の改正について 議案第47号 前橋市指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の改正について 議案第48号 前橋市介護保険条例の改正について 議案第49号 前橋市指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の改正について</p>

(説 明 員)

市長・副市長

福祉部長	竹 渕 亨	教育長	吉 川 真由美
社会福祉課長	山 口 和 子	教育次長	高 橋 宏 幸
子育て支援課長	膽 熊 桂 二	指導担当次長	山 中 茂 樹
子育て施設課長	福 島 健 一	教育委員会事務局総務課長	片 貝 伸 生
長寿包括ケア課長	信 澤 和 秀	教育委員会事務局参事(兼)教育施設課長	井 野 寿 志
福祉部参事(兼)介護保険課長	町 田 敬 子	教育委員会事務局参事(兼)文化財保護課長	田 中 隆 夫
障害福祉課長	小 澤 昭 夫	学校教育課長	都 所 幸 直
指導監査課長	斎 藤 浩 二	前橋高校事務長	鶴 野 明 広
健康部長	中 西 啓 子	生涯学習課長	若 島 敦 子
保健所長	大 西 一 徳	青少年課長	阿 久 澤 正 彦
保健総務課長	狩 野 尚 彦	総合教育プラザ館長	板 橋 均
健康増進課長	藤 田 明 弘	図書館長	伊 井 直 文
保健予防課長	吉 野 崇 夫		
衛生検査課長	小 野 敏 夫		
国民健康保険課長	岡 田 秀 行		

常任委員会予算審査日程表

令和3年3月

日	曜	時間	場 所	委員会名	付 託 議 案
19	金	午前 10時	第一委 員会室	市民経済 常 任 委 員 会	議案第1号 令和3年度前橋市一般会計予算のうち 市民部、文化スポーツ観光部、環境部、産業経済部、農政部等所管に関する歳入 市民部、文化スポーツ観光部、環境部、産業経済部、農政部等所管に関する歳出 第2款 総務費のうち 第1項 総務管理費 第8目 企画費の一部、 第10目 支所費、 第12目 行政連絡費、 第14目 環境保全対策費、 第15目 諸費の一部、 第3項 戸籍住民基本台帳費 第3款 民生費のうち 第1項 社会福祉費 第1目 社会福祉総務費の一部、 第7目 国民年金費 第4款 衛生費【第1項 保健費、 第2項 衛生費 第1目 衛生総務費、 第2目 環境衛生費の一部、 第3項 保健所費、 第4項 清掃費 第5目 し尿処理費の一部、を除く】 第5款 労働費 第6款 農林水産業費 第7款 商工費【第1項 商工費 第4目 観光費の一部、を除く】 第8款 土木費のうち 第3項 都市計画費 第5目 公園費の一部 第10款 教育費のうち 第8項 保健体育費 第1目 保健体育総務費の一部 第11款 災害復旧費のうち 第1項 農林水産施設災害復旧費 議案第4号 令和3年度前橋市競輪特別会計予算 議案第5号 令和3年度前橋市農業集落排水事業特別会計予算 議案第8号 令和3年度前橋市新エネルギー発電事業特別会計予算 議案第10号 令和3年度前橋市産業立地推進事業特別会計予算 議案第40号 土地の買入れについて（西善中内産業用地）

(説明員)

市長・副市長

市民部長	平石秀樹	環境部長	南雲厚
生活課長	梨木章広	環境森林課長	大原豊茂
市民課長	持田一浩	ごみ減量課長	倉林薫
大胡支所長	五十嵐信行	環境部参事(兼)廃棄物対策課長	伊與久隆浩
宮城支所長	萩原淳	環境部参事(兼)清掃施設課長	贄田任規
粕川支所長	関口正人	清掃施設整備室長	堤正明
富士見支所長	関口隆行		
文化スポーツ観光部長	川端利保	産業経済部長	神山尚人
文化国際課長	田中力	産業政策課長	木村理文
文化スポーツ観光部参事(兼)スポーツ課長	桑原和彦	にぎわい商業課長	原田陽一
観光振興課長	丸橋睦	公営事業課長	羽鳥申一
		農政部長	矢嶋章光
		農政課長	田部井誠
		農政部参事(兼)農村整備課長	青柳弘
		農業委員会会長	深町富士雄
		農業委員会事務局長	本間達雄

常任委員会予算審査日程表

令和3年3月

日	曜	時間	場 所	委員会名	付 託 議 案
22	月	午前 10時	第一委 員会室	建設水道 常 任 委 員 会	議案第1号 令和3年度前橋市一般会計予算のうち 都市計画部、建設部、水道局所管に関する歳入 都市計画部、建設部、水道局所管に関する歳出 第4款 衛生費のうち 第4項 清掃費 第5目 し尿処理費の一部 第7款 商工費のうち 第1項 商工費 第4目 観光費の一部 第8款 土木費【第3項 都市計画費 第5目 公園費の一部、を除く】 第11款 災害復旧費【第1項 農林水産施設災害復旧費、を除く】 議案第11号 令和3年度前橋市水道事業会計予算 議案第12号 令和3年度前橋市下水道事業会計予算 議案第35号 前橋市西善・中内地区地区計画の区域内における建築物の制限に 関する条例の制定について 議案第36号 前橋市建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律関係手数 料条例の改正について 議案第37号 前橋市道路占用料徴収条例の改正について 議案第41号 土地の買入れについて（前橋市新設道の駅整備運営事業用地） 議案第42号 市道の認定について 議案第43号 市道の廃止について 議案第44号 公の施設の指定管理者の指定について（前橋市富士見温泉見晴ら しの湯ふれあい館）

(説 明 員)

市長・副市長

都市計画部長	笠 間 良 一	公営企業管理者	稲 垣 則 行
都市計画部参事(兼)都市計画課長	金 井 秀 人	水道局長	井 口 彰
建築指導課長	川 合 寿 憲	経営企画課長	阿佐美 忍
建築住宅課長	吉 澤 輝 男	水道整備課長	茂 木 政 史
市街地整備課長	飯 塚 佳 雄	浄水課長	篠 田 十 一
都市計画部参事(兼)区画整理課長	佐 藤 佳 久	下水道整備課長	田 村 隆 博
		水道局参事(兼)下水道施設課長	大 舘 勉
建設部長	長 岡 道 定		
道路建設課長	今 井 信 宏		
道路管理課長	金 田 芳 明		
東部建設事務所長	品 川 明 弘		
公園緑地課長	高 橋 穰		
公園管理事務所長	狩 野 健		

×

×

日時・場所 3月11日(木) 第一委員会室
開議 午前8時57分 散会 午前9時
出席委員 鈴木(数)委員長、豊島、窪田、近藤(登)、須賀、中里、長谷川、阿部各委員、
委員外議員：三森議員
当局出席者 戸塚副市長、総務部長、秘書、行政管理各課長

1 議事日程第3号について

(1) 総括質問

本日の総括質問は、鈴木(俊)議員以下9名とすることで確認された。

また、質問順序、質問事項等について、別紙総括質問一覧表(12ページ～13ページ参照)のとおりに確認された。

(2) 休憩の時刻

昼休みは、堤議員の質問終了後、午後の休憩は新井美咲子議員の質問終了後に予定し、時間によっては、変更もあるということを確認された。

(3) 休会の議決

12日から14日までの3日間を休会とすることで確認された。

2 その他

(1) 正副常任委員長会議

本日の本会議終了後、予算審査運営要項等の確認のため、正副常任委員長会議が第一委員会室で開催されるため、該当議員への周知を行うよう伝えられた。

(2) 議場における黙祷について

本日の会議に先立ち、事務局長の発議により東日本大震災での犠牲者のご冥福を祈り、黙祷を行うことで、確認された。

(3) 次期議会運営委員会の日程について

3月15日(月)午前9時から行うこととされた。

×

×

日時・場所 3月15日(月) 第一委員会室
開議 午前9時11分 散会 午前9時24分
出席委員 鈴木(数)委員長、角田副委員長、豊島、窪田、近藤(登)、須賀、中里、長谷川、

阿部各委員

当局出席者 戸塚副市長、総務部長、秘書、行政管理各課長

1 議事日程第4号について

(1) 総括質問

本日の総括質問は、藤江議員以下12名とすることで確認された。

また、質問順序、質問事項等について、別紙総括質問一覧表（15ページ～16ページ参照）のとおり確認された。

(2) 休憩の時刻

昼休みは、金井議員の質問終了後、午後の休憩は吉田議員の質問終了後に予定し、時間によっては、変更もあるということで確認された。

(3) 常任委員会付託議案

総括質問終了後、令和3年度予算議案及び関連の条例議案、並びに、事件議案を各常任委員会に付託することとされた。

(4) 付託省略議案に対する討論、(5) 付託省略議案の表決

その他の議案については、委員会付託を省略し、討論、表決を行うこととされた。

討論は、近藤（好）議員から通告があり、表決は、別紙表決順序調べ（17ページ参照）のとおり2回で行うこととされ、初めに議案第13号、第20号及び報告第1号、以上3件を一括して表決し、次に残る議案第14号から第19号まで、第21号、第22号、第34号、第39号及び第45号、以上11件を一括して表決することで確認された。

(6) 休会の議決

委員会審査のため、16日から25日までの10日間を休会とすることで確認された。

2 その他

(1) 修正案について

先ほどの各派代表者会議において、阿部議員から発言があった議案第28号、前橋市敬老祝金条例の改正についての修正案の取扱いについて、常任委員会の予算審査等もあり議会運営委員会の開催が難しいため、本日あらかじめ協議することで確認された。

正式な修正案の提出については、18日の教育福祉常任委員会における審査終了後の19日午後3時までに前橋令明が取りまとめ、提出者を決めた上で、提出することが確認され、修正案の提案理由の説明者も申し出ることで確認された。

次に、修正案は26日の委員長報告の後に議題とし、提案説明、質疑、討論、表決を行うこととされ、正式に提出された修正案の写しは22日に各会派の代表者に配付することで確認された。

なお、事務の都合上、修正案に対する質疑及び修正案及び原案に対する討論の通告並びに修正案及び原案の表決調べを23日午後3時までに提出することで確認された。

また、質疑の通告が複数の会派からあった場合の発言順序は、大会派順に行うことで確認された。

なお、長谷川委員より、修正案が複数出された場合の取扱いについて発言があり、議事課長から説明があった。

(2) 討論通告の締め切り

新年度予算等、常任委員会付託議案のうち議案第28号を除く付託議案に対する本会議討論の通告

は、事務の都合上、23日午後3時までとすることで確認された。

なお、まほろば、赤利根、なないろ、以上3会派については、所属していない委員会に付託された議案の表決についても討論通告と同様、常任委員会付託議案は23日午後3時までには報告するよう伝えられた。

(3) 令和2年度前橋市一般会計補正予算（二次補正）議案の取り扱いについて

令和2年度前橋市一般会計補正予算二次補正議案の取扱いについて、各派代表者会議で確認されたとおり、22日に議案が送付され、26日に議決することで確認された。

なお、表決調べを議案送付日である22日に各会派の代表者へ配付することとし、事務の都合上、質疑及び討論の通告と表決調べを23日午後3時までには事務局へ提出することで確認された。

(4) 委員会審査（運営要項等）について

本日の本会議終了後、予算審査運営要項等の確認のため、各常任委員会を開催することで確認された。

開催場所は、総務常任委員会は議会運営委員会室、教育福祉常任委員会は第一委員会室、市民経済常任委員会は第二委員会室、建設水道常任委員会は第三委員会室とすることで確認された。

なお、会派内の各議員への連絡を行うよう伝えられた。

(5) 次期議会運営委員会の日程について

3月26日（金）午前10時から行うこととされた。

×

×

日時・場所	3月26日（金）	第一委員会室
	開議 午前10時22分	散会 午前10時31分
出席委員	鈴木（教）委員長、角田副委員長、豊島、窪田、近藤（登）、須賀、中里、長谷川、阿部各委員	
当局出席者	戸塚副市長、総務部長、秘書、行政管理各課長	

1 議事日程第5号について

(1) 市長提出議案の付議

各常任委員会に付託した予算関連等の議案について、審査報告書（20ページ～23ページ参照）が提出されたため、委員長報告を行うこととされ、委員長報告の順序は審査を行った順とし、初めに総務、次いで教育福祉、市民経済、最後に建設水道の各委員長の順で行うこととされた。

なお、委員長報告に対する質疑は、なしとすることとされた。

続いて、議案第28号に対する修正案を上程し、提案理由の説明、質疑を行うこととし、提案理由の説明については豊島議員が行い、質疑については別紙質疑一覧表（25ページ参照）のとおり長谷川議員から通告があったことが確認された。

なお、質疑の回数は、会議規則第55条の規定により3回までとなることが確認された。

また、質疑、答弁は自席で行うこととされ、質疑者、答弁者ともに議長の指名を受けてから発言することで確認された。

次に、討論は、別紙討論一覧表（２５ページ参照）のとおり近藤（好）議員から通告があったことが確認された。

また、表決は、別紙表決順序調べ（２５ページ参照）のとおり、２回に分けて行い、初めに、議案第２８号の修正案を表決した後、続いて修正議決した部分を除く原案に対する表決を行うことで確認された。

次に、議案第２８号を除く常任委員会付託議案に対する討論及び表決を行うこととされ、討論は、別紙討論一覧表（２６ページ参照）のとおり、小林議員以下５名から通告があり、討論順序と併せて確認された。

また、表決は、別紙表決順序調べ（２６ページ参照）のとおり、２回に分けて行い、初めに、議案第１号以下１７件を一括して行い、次に残る議案第５号以下１８件を一括して行うことで確認された。

（２）市長提出追加議案の上程

市長提出追加議案第５０号から第５５号までの６件を、３回に分けて上程することとされた。

初めに、議案第５０号を上程し、説明、質疑、討論、表決の順で進めることとされ、次に議員のうちから選任する監査委員の議案第５１号及び第５２号の２件を一括して上程し、説明、質疑、討論、表決の順で進めることとされ、該当議員である小曾根議員、中林議員は除斥となることで確認された。

次に、残る第５３号から第５５号までの３件を一括して上程し、説明、質疑、討論、表決の順で進めることとされ、表決については１件ずつ行うことで確認された。

なお、追加議案６件に対する質疑、討論はなしとし、委員会付託は省略することで確認された。

（３）意見書案の上程

別紙意見書案一覧表（２８ページ参照）のとおり、提出のあった１２件を一括上程することで確認された。

提案理由の説明、委員会付託を省略し、質疑、討論はなしとすることで確認された。

また、表決は、９回に分けて行い、初めに第１号について行い、２回目に第２号、３回目に第３号及び第４号の２件、４回目に第５号、５回目に第６号、６回目に第７号及び第８号の２件、７回目に第９号、８回目に第１０号及び第１１号の２件、９回目に第１２号について行うことで確認された。

（４）閉会中の継続調査事件

各常任委員長から、閉会中の継続調査事件（４１ページ参照）について申出があり、この申出のとおり議決することで確認された。

なお、議会運営委員会の継続調査事件については、従前どおり地方自治法に記載された内容とすることで確認された。

２ その他

（１）市長あいさつについて

恒例により、市長から挨拶のための発言を求められているので、許可することとされた。

（２）次期議会運営委員会の日程について

６月２日（水）午前１０時から行うこととされた。

—— 各派代表者会議 ——

日時・場所 3月9日(火) 第一委員会室
開議 午前8時56分 散会 午前9時1分
出席議員 横山議長、富田副議長、阿部、鈴木(数)、須賀、豊島、近藤(登)、窪田、角田、
長谷川、中里各議員、(オブザーバー)岡田、岡、入澤各議員
当局出席者 戸塚副市長、総務部長、秘書、行政管理各課長

1 代表者の変更等について

議長から次のとおり説明があった。

3月3日付で前橋令明及び前橋高志会から役員・代表者変更届の提出があった。

なお、この各派代表者会議への出席者としては、前橋令明から豊島議員が、前橋高志会から窪田議員が本日から新たに参加することになったので、よろしく願います。

2 議会運営委員の変更について

議長から次のとおり説明があり、了承された。

前橋高志会から同会派選出の議会運営委員を富田議員から窪田議員に変更したい旨の申出があった。ついては、この後、富田議員の辞任願の提出を受け、これを許可した後、本日の本会議において議長の指名により、窪田議員の選任議決を行いたいと思う。

3 3月11日の議場における黙禱について

議長から次のとおり説明があり、了承された。

平成23年3月11日の東日本大震災の発生から令和3年で10年が経過する。この未曾有の大震災により、多くの貴い命が奪われ、貴重な財産が失われるなど、大変な被害が発生した。ついては、3月11日に本会議、総括質問が予定されているが、開議に先立ち、事務局長の発議により、東日本大震災で犠牲となられた方々に対し謹んでご冥福をお祈りし、黙禱をささげたいと思う。

4 議員派遣について

議長から次のとおり説明があり、了承された。

2月24日の各派代表者会議で、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するための確認事項について改めて確認された。本市議会としても、引き続き感染防止対策を行うことが必要な状況にあるので、今期定例会での議員派遣については自粛することとしたいと思う。

5 議員親睦会費について

総務課長から親睦会費を3月より毎月の報酬から引き去りしたい旨の説明があった。

6 その他

(1) 次期各派代表者会議の日程について

3月15日（月）午前9時から行うこととされた。

×

×

日時・場所 3月15日（月） 第一委員会室
開議 午前8時56分 散会 午前9時10分
出席議員 横山議長、富田副議長、阿部、鈴木（数）、須賀、豊島、近藤（登）、窪田、角田、
長谷川、中里各議員、（オブザーバー）岡田、岡、入澤各議員
当局出席者 市長、戸塚副市長、総務、財務、市民各部長、教育次長、秘書、行政管理、教育施設
各課長

1 市長提出追加議案について

市長及び財務部長から次のとおり説明があり、人事議案及び第二次補正予算の追加議案については3月22日に送付し、3月26日に上程することです承された。

（市長）

3月26日に提案する人事議案5件について、本日あらかじめ説明する。

まず、副市長の選任についてである。現在副市長である中島實さんの任期が令和3年3月31日で満了となるが、引き続き副市長をお願いしたいと思う。

次に、監査委員の選任についてである。議員のうちから選任されていた金井清一さんと阿部忠幸さんの任期が令和3年2月22日で満了となったので、金井清一さんの後任として小曾根英明さんに、阿部忠幸さんの後任として中林章さんをお願いしたいと思う。

次に、教育委員会の委員の任命についてである。現在委員である湯澤晃さんの任期が令和3年3月31日で満了となるので、後任として高濱正伸さんに委員をお願いしたいと思う。

最後に、人権擁護委員の候補者の推薦についてである。現在委員である田村千代子さんの任期が令和3年6月30日で満了となるが、引き続き委員をお願いすることとし、推薦したいと思う。

（財務部長）

補正予算の追加となる二次補正について説明する。

補正内容については、国の第三次補正予算を活用して、小学校、中学校及び特別支援学校の改修工事等を行うものであり、3月1日付で国から交付決定を受けたので、実施しようとするものである。なお、改修工事等については令和3年度に行うことから、全て繰越明許費の設定を併せてお願いするものである。

次に、補正項目についてである。まず、小学校の校舎等大規模改修事業の追加は、校舎大規模改造工事として上川淵小、下川淵小、芳賀小、岩神小、勝山小の計5校の改修を実施するほか、トイレ大規模改造工事や校舎の外壁落下防止工事等を行うものであり、令和3年度に工事を実施することから、繰越明許費の設定をお願いするものである。

続いて、中学校の校舎等大規模改修事業の追加は、トイレ大規模改造工事のほか、特別教室の空調設備改修工事や校舎の外壁落下防止工事等を行うものであり、小学校同様に繰越明許費の設定をお願いす

るものである。

次に、特別支援学校の校舎等大規模改修事業の追加は、空調設備改修工事を行うものであり、こちらも同様に繰越明許費の設定をお願いするものである。

続いて、歳入であるが、15款国庫支出金は、国の交付決定に基づくものである。16款県支出金は特別支援学校の整備に対して県補助を見込んでいるほか、22款市債では補正予算債を活用できることから、一般財源はほとんど生じないものとなっている。

なお、19款繰入金については、令和2年度予算に既に計上している校舎大規模改造工事等の実施設計の費用に対しても補正予算債を活用できることになり、一般財源の充当額が減少するため、財政調整基金からの繰入金を減額するものである。

次に、補正予算一覧表であるが、補正額として今回25億1,903万4,000円を追加し、補正後の予算規模を1,945億7,803万7,000円にしようとするものである。

最後に、補正予算の議案については22日に送付し、定例会最終日の26日に提案したいと考えている。

2 次期タブレットの導入について

総務課長から次のとおり説明があり、了承された。

2月24日の各派代表者会議において、新しいタブレットが一部まだ確保されていないと説明したが、現在全タブレットが確保でき、業者において設定をしている状況となった。については、新タブレットの引渡し及び説明会の開催について案内する。

開催日時であるが、3回に分けて行い、1回目が3月23日午後1時30分から、2回目は3月24日午前10時から、3回目は同じ日の午後1時30分から、いずれも第一委員会室で行いたいと思う。出席については、既に3月4日に引渡しを行った1期の議員以外、2期以上の全議員が対象となるので、3回のうちいずれかの回に出席してほしい。

内容であるが、この後2期以上の全議員にタブレットで改めて連絡するので、どの引渡し及び説明会に出席するか、予定を返信してほしい。いずれの日時も都合が悪い場合には、事務局から連絡を取り、後日個別に対応したいと思う。

なお、今回の引渡し及び説明会では旧タブレットから新タブレットへのSIMカードの差し替えを行うので、旧タブレットを引渡し及び説明会に持ってきてほしい。

3 その他

(1) 修正案について

阿部議員から、議案第28号、前橋市敬老祝金条例の改正について、前橋令明として修正案を提出したいとの申出があった。

×

×

日時・場所 3月26日（金） 第一委員会室

開議 午前9時56分 散会 午前10時21分

出席議員 横山議長、富田副議長、阿部、鈴木（数）、須賀、豊島、近藤（登）、窪田、角田、長谷川、中里各議員、（オブザーバー）浅井（岡田議員の代理）、岡、入澤各議員
当局出席者 戸塚副市長、総務、財務各部長、秘書、行政管理、市民税、資産税各課長

1 市税条例等の改正について

財務部長から次のとおり説明があり、専決処分により事務を進めることが了承された。

市税条例の改正に係る専決処分について説明する。

本件については、現在開かれている第204回国会において、地方税等の一部を改正する法律案が審議されており、今月末までに可決及び交付され、4月1日からの施行が予定されているが、本日現在、いまだ可決成立していない状況にある。については、個人市民税以下、各税目の賦課事務を円滑に進めるため、改正地方税法が可決、公布され次第、条例改正の専決処分をし、対応しようとするものである。

改正の理由であるが、地方税法等の改正に伴い、所要の改正を行おうとするものである。

主な内容であるが、4点ある。1点目は、個人市民税に関わるもので、アについては給与所得者等は給与支払者等が地方税法施行令に規定する要件を満たす場合に、扶養親族申告書の記載事項を紙の文書ではなく電子データ等の電磁的方法により当該給与支払者等に提供することができることとし、納税地の所轄税務署長による給与支払者等に対する事前承認を不要とするものである。イについては、新型コロナウイルス感染症及びその蔓延防止のための措置の影響を受けた場合における住宅借入金等特別税額控除、いわゆる住宅ローン控除の適用期限を1年延長し、控除期間を令和17年度の個人市民税までとするものである。

2点目は、固定資産税及び都市計画税に関わるもので、アについては、据置年度において地価が下落し、前年度の価格をそのまま用いることが固定資産税の課税上、著しく均衡を失すると認める場合に市長が価格の修正を行う特例措置である下落修正措置について3年間延長するものである。イについては、評価替えにより税負担が増大しないようにするため、課税標準額を緩やかに上昇させる措置である、住宅用地、商業地等及び農地に係る負担調整措置を3年間延長することに合わせて、令和3年度に限る措置として一定の要件を満たす住宅用地、商業地等及び農地の課税標準額を前年度の課税標準額と同額とするものである。ウについては、地域決定型地方税制特例措置、いわゆるわがまち特例の割合を定める規定において地方税法の条項がずれることから、引用条項を改める等、規定の整理を行うもので、内容に変更はない。エについては、東日本大震災により滅失し、または損壊した家屋の敷地の用に供されていた土地に係る固定資産税について、当該土地を住宅用地とみなす特例の適用を受けようとする納税義務者がすべき申告等を不要とする措置を5年間延長するものである。

3点目は、軽自動車税に関わるもので、アについては軽自動車税の環境性能割の税率を1%軽減する特例措置の適用期限を9か月延長し、令和3年12月31日までに取得した3輪以上の乗用の自家用軽自動車を対象とするものである。イについては、令和3年度または令和4年度に最初の車両番号の指定を受けた一定の環境性能を有する3輪以上の軽自動車のうち、営業用乗用車等の種別割の税率についてグリーン化特例、いわゆる軽課の適用期限を2年延長し、それぞれ令和4年度分、または令和5年度分に限り、燃費性能等に応じて軽減するものである。

4点目は、特別土地保有税に関わるもので、特別土地保有税の課税の特例期間を3年間延長するものである。

本件は、冒頭で説明したとおり、地方税法の改正に伴うもので、今月末までの公布が見込まれている

ことから、市税条例の改正についても今月中に公布し、令和3年4月1日から施行する必要があるので、特に緊急を要し、議会を招集する時間的余裕がないことから、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分をしたいと考えている。

2 政務活動費の交付における様式の見直しについて

総務課長から次のとおり説明があり、了承された。

政務活動費関係書類への押印見直し等については、令和2年12月15日の各派代表者会議において政務活動費の運用指針の行政視察報告書などの様式について、押印廃止などの確認をした。市当局でも補助金等交付手続について支出の際に添付する請求書に請求者の押印を省略することができる規則改正などが行われ、さらに交付申請と実績報告の押印についても全庁的な見直しの方針が示されたことから、政務活動費の交付に係る各様式について見直しを行うものである。

様式第1号の交付申請書から様式第10号の収支報告書まで変更を行う。交付申請書、交付請求書、収支報告書については代表者印の廃止に伴い、各書類の発行責任者、経理責任者、電話番号を記載することが必須となることから、令和3年4月1日から様式を変更するものである。

3 その他

(1) 特別委員会について

特別委員会の設置について、阿部、長谷川、近藤（登）、角田、中里各議員から発言があった。

(2) 次期各派代表者会議の日程について

4月14日（水）午前9時から行うこととされた。

—— 議会広報紙編集委員会 ——

日時・場所 3月26日(金) 第一委員会室
 開議 午前10時33分 散会 午前10時40分
 出席委員 鈴木(数)委員長、角田副委員長、豊島、窪田、近藤(登)、須賀、中里、長谷川、阿部各委員、横山議長、富田副議長

1 令和3年度「まえばし市議会だより」の発行について

委員長から令和3年度の編集計画案について説明があり、了承された。

2 二次元コード(QRコード)及び顔写真の掲載について

委員長から二次元コード(QRコード)及び顔写真の掲載について説明があり、了承された。

3 次号(令和3年第1回定例会号)の表紙について

委員長からタブレットで周知済みであるが、本日の本会議終了後に議場において次号の表紙の写真撮影を行う旨の説明があり、各会派の議員への周知を改めて依頼した。

令和3年度「まえばし市議会だより」編集計画(案)

1 紙面構成

発行日	6月1日号 (第1回定例会号)	8月1日号 (第2回定例会号)	11月1日号 (第3回定例会号)	2月1日号 (第4回定例会号)
1面	◎表題 ◎発行No. ◎表紙写真 ◎目次			
2面	◎定例会の概要		◎定例会の概要	
3面	◎代表質問		○会派別の質問事項	
4面			◎総括質問	
5面	◎総括質問			
6面	○会派別の質問事項			
7面				
8面				
9面				
10面				
11面	◎議案等の議決結果(議員別の表決)			
12面	◎意見書(要旨) ○次回定例会日程 ○議会日誌 ○その他			

◎…主項目 ○…副項目(副項目は、記事のボリュームによりページ間の移動がある。)

2 総括質問の会派別掲載順序

大会派順とする。（会派構成員が同数の場合は、総括質問順序に合わせる。）

—— 議会図書室運営委員会 ——

日時・場所 3月26日(金) 第一委員会室
開議 午前10時41分 散会 午前10時46分
出席委員 鈴木(教)委員長、角田副委員長、豊島、窪田、近藤(登)、須賀、中里、長谷川、
阿部各委員

1 令和2年度の図書の購入状況等について

事務局から次のとおり説明があり、了承された。

令和2年度の図書の購入状況等については、新たに購入した冊数は57冊、金額にして12万9,780円。このほか、寄贈などが66冊あり、合わせて123冊である。また、令和2年度は令和4年度に予定されている新庁舎への移転に向けて蔵書整理を進めた結果、例年より多い283冊の除籍を行ったため、蔵書総数は、総記から文学までの合計で3,356冊となった。

2 令和3年度の図書購入について

委員長から次のとおり説明があり、了承された。

令和3年度の図書購入については、図書購入希望票により会派ごとに取りまとめて、4月23日までに事務局に提出願う。なお、希望図書は、1冊当たり1万円未満で願います。集約後、委員会を開催し、購入について協議をお願いしたい。

■ 当 局 の う ご き

—— 職 員 の 人 事 異 動 ——

令和3年4月1日付

(部長)

(新)	氏 名	(旧)
総務部長	高橋 宏幸	教育委員会事務局教育次長
未来創造部長	青木 一宏	財務部資産経営課長 (昇任)
未来創造部情報政策担当部長	松田 圭太	政策部情報政策担当部長
市民部長	木村 由美	会計管理者
文化スポーツ観光部長	平石 秀樹	市民部長
健康部長	膽熊 桂二	福祉部子育て支援課長 (昇任)
環境部長	喜楽 正一	議会事務局参事 (昇任) (兼) 議事課長
産業経済部長	中畝 剛	政策部長
農政部長	田部井 誠	農政部農政課長 (昇任)
都市計画部長	金井 秀人	都市計画部参事 (昇任) (兼) 都市計画課長
会計管理者	狩野 尚彦	健康部保健総務課長 (昇任)
監査委員事務局長	桑原 和彦	文化スポーツ観光部参事 (昇任) (兼) スポーツ課長
教育委員会事務局教育次長	藤井 一幸	総務部参事 (昇任) (前橋工科大学事務局派遣)
教育委員会事務局指導担当次長	都所 幸直	教育委員会事務局学校教育課長 (昇任)
水道局長	今井 信宏	建設部道路建設課長 (昇任)
消防局長	消防正監 清水 征己	消防局総務課長 (昇任)
消防次長 (兼) 警防課長	消防監 須田 常見	消防局警防課長 (昇任)

(参事)

(新)	氏 名	(旧)
総務部参事 (兼) 職員課長	宮坂 恵理子	総務部職員課長 (昇任)
未来創造部参事 (兼) 交通政策課長	細谷 精一	政策部交通政策課長 (昇任)

(新)	氏名	(旧)
市民部参事 (兼) 粕川支所長	関口 正人	市民部粕川支所長 (昇任)
文化スポーツ観光部参事 (兼) 文化国際課長 (兼) アーツ前橋館長	田中 力	文化スポーツ観光部文化国際課長 (昇任)
都市計画部参事 (兼) 建築指導課長	吉澤 輝男	都市計画部建築住宅課長 (昇任)
参事 (兼) 農業委員会事務局長	鶴野 明広	前橋高等学校事務長 (昇任)
水道局参事 (兼) 下水道整備課長	田村 隆博	水道局下水道整備課長 (昇任)
消防局参事 (兼) 西消防署長	消防監 山田 富士勝	中央消防署長 (昇任)

(課長)

(新)	氏名	(旧)
総務部秘書広報課長	高松 秀光	総務部秘書課長
総務部行政管理課付副参事 (前橋工科大学事務局派遣)	阿部 秀明	選挙管理委員会事務局長
総務部行政管理課付副参事 (前橋工科大学事務局派遣)	山本 義浩	総務部行政管理課副参事 (昇任) (前橋工科大学事務局派遣)
未来創造部未来政策課長	谷内田 修	政策部未来の芽創造課長
財務部資産経営課長	大原 豊茂	環境部環境森林課長
財務部資産税課長	天田 功	財務部資産税課副参事 (昇任) (兼) 土地係長
市民部生活課長	原田 陽一	産業経済部にぎわい商業課長
市民部市民課長	本間 達雄	農業委員会事務局長
文化スポーツ観光部スポーツ課長	伊井 直文	教育委員会事務局図書館長
文化スポーツ観光部観光政策課長	篠田 京	政策部政策推進課副参事 (昇任) (兼) 調整係長
福祉部社会福祉課長	田村 哲司	福祉部社会福祉課副参事 (昇任) (兼) 保護第三係長
福祉部子育て支援課長	木村 早苗	健康部保健予防課副参事 (昇任) (兼) 感染症対策係長
福祉部介護保険課長	五嶋 信広	福祉部介護保険課副参事 (昇任) (兼) 保険料係長
福祉部障害福祉課長	山口 和子	福祉部社会福祉課長

(新)	氏名	(旧)
福祉部指導監査課長	鈴木 明	会計室長 (兼) 審査係長
健康部保健総務課長	山口 智幸	健康部保健予防課副参事 (昇任) (兼) 新型コロナワクチン接種準備室長
健康部健康増進課長	吉野 崇	健康部保健予防課長
健康部保健予防課長	藤田 明弘	健康部健康増進課長
健康部衛生検査課長	松本 和裕	健康部衛生検査課副参事 (昇任) (兼) 食品衛生係長
環境部環境森林課長	持田 一浩	市民部市民課長
環境部清掃施設整備室長	丸橋 睦	文化スポーツ観光部観光振興課長
産業経済部にぎわい商業課長	松澤 俊充	市民部大胡支所地域振興課長 (昇任)
農政部農政課長	中野 孝一	農政部農政課副参事 (昇任) (兼) 農業政策係長
農政部農村整備課長	茂木 政史	水道局水道整備課長
都市計画部都市計画課長	宇田 正	総務部契約監理課副参事 (昇任) (兼) 建設監理室長 (兼) 工事検査員
都市計画部建築住宅課長	川合 寿憲	都市計画部建築指導課長
都市計画部区画整理課長	金子 朋之	水道局水道整備課副参事 (昇任) (兼) 計画管理係長
建設部道路建設課長	金田 芳明	建設部道路管理課長
建設部道路管理課長	横塚 有利	都市計画部区画整理課長補佐 (昇任) (兼) 工務係長
会計室長 (兼) 審査係長	猪俣 理恵	総務部行政管理課付副参事 (前橋工科大学事務局派遣)
議会事務局総務課長	梨木 章広	市民部生活課長
議会事務局議事課長	齋藤 明子	議会事務局議事課長補佐 (昇任) (兼) 議事係長
選挙管理委員会事務局長	小澤 昭夫	福祉部障害福祉課長
教育委員会事務局文化財保護課長	上野 克巳	教育委員会事務局文化財保護課副参事 (昇任) (兼) 文化財保護係長
教育委員会事務局学校教育課長	相原 吉次	(割愛採用)
前橋高等学校事務長	高橋 之彦	議会事務局総務課長
教育委員会事務局生涯学習課長	関口 知子	政策部市政発信課長
教育委員会事務局総合教育プラザ館長	金井 幸光	(割愛採用)
教育委員会事務局図書館長	若島 敦子	教育委員会事務局生涯学習課長

(新)	氏 名	(旧)
水道局水道整備課長	小杉 道晴	水道局水道整備課長補佐 (昇任) (兼) 工事第二係長
消防局総務課長	堤 正明	環境部清掃施設整備室長
消防局予防課長	消防監 手島 一樹	消防局通信指令課長
消防局通信指令課長	消防監 下田 哲也	消防局予防課副参事 (昇任) (兼) 予防調査係長
中央消防署長	消防監 松島 敏彦	西消防署長
東消防署長	消防監 吉澤 進	中央消防署副参事 (昇任) (兼) 副署長 (兼) 第一中隊指揮隊長
南消防署長	消防監 戸塚 直樹	消防局警防課長補佐 (昇任) (兼) 装備係長
北消防署長	消防監 小林 克弘	中央消防署副参事 (昇任) (兼) 副署長 (兼) 第二中隊指揮隊長

(議会事務局へ異動)

(新)	氏 名	(旧)
総務課長	梨木 章広	市民部生活課長
議事課副参事 (兼) 議事係長	小林 智之	総務部秘書課長補佐 (兼) 秘書係長 (昇任)
議事課主事	田中 絵理奈	政策部政策推進課主事

(議会事務局内異動)

(新)	氏 名	(旧)
議事課長	齋藤 明子	議事課長補佐 (兼) 議事係長 (昇任)

(議会事務局から他部局へ異動)

(新)	氏 名	(旧)
環境部長	喜楽 正一	参事 (兼) 議事課長 (昇任)
前橋高等学校事務長	高橋 之彦	総務課長
未来創造部情報政策課主任	佐藤 萌恵	議事課主任

■ □ ビ ー

—— 役 職 等 — 覽 表 ——

□ 委 員 会

委 員 会 名	委 員 長	副 委 員 長	委 員
総 務 常任委員会	林 幸一	小 淵 一 明	入 澤 繭 子 近 藤 登 鈴 木 数 成 中 里 武 金 井 清 一 長 谷 川 薫 三 森 和 也
教 育 福 祉 常任委員会	窪 田 出	堤 波 志 芽	宮 崎 裕 紀 子 山 田 秀 明 市 村 均 光 高 橋 照 代 近 藤 好 枝 角 田 修 一 浅 井 雅 彦 中 林 章
市 民 経 済 常任委員会	新 井 美 加	小 林 久 子	大 澤 智 之 小 岩 井 僚 太 富 田 公 隆 須 賀 博 史 石 塚 武 岡 田 修 一 阿 部 忠 幸
建 設 水 道 常任委員会	新 井 美 咲 子	豊 島 孝 男	吉 田 直 弘 佐 藤 祥 平 岡 正 己 藤 江 彰 小 曾 根 英 明 笠 原 久 鈴 木 俊 司
議 会 運 営 委 員 会	鈴 木 数 成	角 田 修 一	豊 島 孝 男 窪 田 出 近 藤 登 須 賀 博 史 中 里 武 長 谷 川 薫 阿 部 忠 幸

□ 議会選出・推薦・同意役職

後期高齢者医療 広域連合議会議員	横山 勝彦	富田 公隆
監 査 委 員	小曾根 英明	中林 章

□ 市長委嘱役職

都市計画審議会 委 員	近藤 登 石塚 武	藤江 彰	鈴木 俊司	長谷川 薫
----------------	--------------	------	-------	-------

□ 会派別議員名簿

会 派 名	役 職 等		会 員 (団 員)
前橋令明	幹 事 長 副幹事長 政策審議会長 政策審議副会長	阿部 忠幸 鈴木 数成 須賀 博史 豊島 孝男 小淵 一明	横山 勝彦 中林 章 鈴木 俊司 新井 美加 林 幸一 堤 波志芽 小岩井 僚太 市村 均光 佐藤 祥平
前橋高志会	幹 事 長 副幹事長 政策審議会長	近藤 登 窪田 出 金井 清一	笠原 久 小曾根 英明 富田 公隆 山田 秀明
市民フォーラム	幹 事 長 副幹事長	角田 修一 三森 和也	藤江 彰 大澤 智之 宮崎 裕紀子
日本共産党市議団	団 長 副 団 長	長谷川 薫 近藤 好枝	小林 久子 吉田 直弘
公明党市議団	代 表 幹 事 長	中里 武 石塚 武	新井 美咲子 高橋 照代
まほろば	代 表	岡田 修一	浅井 雅彦
赤利根	岡 正己		
なないろ	入澤 繭子		

—— 前橋市功 労 者 表 彰 ——

◇ 3月3日（水）及び3月25日（木）に、前橋市功労者表彰規則に基づき次の9名の議員及び前議員が表彰された。

在職12年 角田 修一 議員 藤江 彰 議員 富田 公隆 議員
 小曾根 英明 議員
 在職20年以上（退任） 中道 浪子 議員 細野 勝昭 議員 宮田 和夫 議員
 岡田 行喜 議員 青木 登美夫 議員

—— 3 月 の 日 誌 ——

月 日	曜日	日 誌
3月 3日	水	議会運営協議会 本会議（1日目） 4常任委員会 議会運営委員会
3月 9日	火	各派代表者会議 議会運営委員会 本会議（2日目）
3月11日	木	議会運営委員会 本会議（3日目） 正副常任委員長会議
3月15日	月	各派代表者会議 議会運営委員会 本会議（4日目） 4常任委員会
3月17日	水	総務常任委員会（予算審査）
3月18日	木	教育福祉常任委員会（予算審査）
3月19日	金	市民経済常任委員会（予算審査）
3月22日	月	建設水道常任委員会（予算審査）
3月26日	金	各派代表者会議 議会運営委員会 議会広報紙編集委員会 議会図書室運営委員会 本会議（5日目）